資料３

令和５年度デジタル田園都市国家構想交付金事業の実績について

令和５年度デジタル田園都市国家構想交付金事業を活用し実施した事業の実績について報告します。

１　交付金の活用目的

国のデジタル田園都市国家構想交付金は、デジタル田園都市国家構想の実現による社会課題解決・魅力向上の取組を加速化・深化する観点から、各地方公共団体の意欲的な取組を支援するものです。

本市においては以下の２タイプを活用し、地方創生の充実・強化を図る事業等を展開するとともに、市の財政負担の軽減を図っています。

【地方創生推進タイプ】

観光や農林水産業の振興等の地方創生に資する取組などを支援

【デジタル実装タイプ】

デジタル技術を活用し、地方の活性化や行政・公的サービスの高度化・効率化を推進するため、デジタル実装に必要な経費などを支援

２　ＰＤＣＡサイクル

○　国の採択を受けた事業について毎年実績報告をとりまとめ、重要業績評価指標（ＫＰＩ）の達成状況を国に報告。

○　検証の実施（外部有識者の意見聴取）。

○　検証結果を受けて事業改善を行い、次年度以降の事業を実施。

地方創生推進タイプ

３　交付金事業の概要

（１）「再エネ地産地消の推進」×「次世代農業の推進」×「鳥取型ワーケーションの推進」によるSDGs未来都市型ローカルイノベーション

鳥取市による『サスティナビリティ×イノベーションで「農村から真の持続可能なまち」を実現する』提案が優れた内容と認められ、令和３年度ＳＤＧｓ未来都市に選定されました。ＳＤＧｓ未来都市として目指すゴールへ向けて、市民、企業、団体等の多様なステークホルダーと連携・協働しながら、「生産性の高い次世代農業の育成支援」、「新たな電源供給モデルの実用化支援」、「新たなワーケーションプログラムの創出支援」など、具体的な施策を進めます。

（２）麒麟のまち圏域の魅力アップによる持続可能な圏域活性化事業

麒麟のまち圏域の地方創生に向けて、地域の課題解決に取り組む人材育成に取り組むとともに、地域資源の魅力向上やエリアプロモーションを行い、まちの魅力アップを図り、地域への愛着度を高め、住む人・来る人に選ばれるまちづくりに取り組みます。また、麒麟のまち全体で、観光消費額向上に戦略的に取り組み、圏域経済の活性化を図って稼ぐ地域を創出する。加えて、圏域人口の維持・増加を図るため、持続的な人材確保に向けて、圏域一体となった移住促進と若者定住を進めます。

（３）「出会い」「集い」「学び」「つながる」舞台芸術を核とした地域活性化事業

鳥の劇場は旧鹿野小学校等施設を鳥取市から譲渡され、劇場として運営していますが、老朽化やバリアフリー化の遅れなどの課題を抱えていることから、訪れる人々が安全・安心・快適に過ごすことのできる「みんなの居場所」への進化をめざして、鳥の劇場が実施する施設整備に対する支援を行います。

また、文化芸術の振興による地域活性化を図るため、演劇に関する様々な要素について、幅広い世代が学べる演劇塾の運営に対する支援を行います。さらに、演劇と連携したマルシェ開催や観光体験メニューの商品化、将来的な地域への継続的な訪問に繋げる魅力発信などに対する支援を行います。

4　事業実績の概要

	事業名 （実施期間）	総事業費 （うち交付金充当額）	指標	目標値 （R5）	実績値 （R5）	内部評価	外部評価
1	「再エネ地産地消の推進」×「次世代農業の推進」×「鳥取型ワーケーションの推進」によるSDGs未来都市型ローカルイノベーション （R3～7年度）	20,281千円 (10,140千円)	鳥取市SDGs未来都市の構想に基づいた事業への参画企業数（年度）	62社	49社	③地方創生に効果があった	③KPI達成にあまり有効とは言えない
			再生可能エネルギーを活用した農産物出荷額（年度）	1,300千円	21,801千円		
			ワーケーションをきっかけとした移住相談者数（年度）	25人	0人		
2	麒麟のまち圏域の魅力アップによる持続可能な圏域活性化事業 （R4～6年度）	73,285千円 (36,643千円)	アカデミー参加者による地域課題の解決に取り組むリーダーの認定者数（年度）	5件	26件	②地方創生に相当程度効果があった	②KPI達成にある程度有効であった
			圏域の観光消費額（年度）	34,121円	26,480円		
			鳥取市の延べ宿泊者数（年度）	295,964人	311,952人		
			麒麟のまち圏域への移住者数（年度）	737人	750人		
3	「出会い」「集い」「学び」「つながる」舞台芸術を核とした地域活性化事業 （R5～7年度）	69,937千円 (34,969千円)	旧鹿野町への転入者数（人/年度）	120人	33人	②地方創生に相当程度効果があった	②KPI達成にある程度有効であった
			文化芸術鑑賞者数（人/年度）	44,000人	56,780人		
			鳥の劇場来場者数（人/年度）	3,789人	6,488人		
合計		163,503千円 (81,752千円)					

デジタル実装タイプ

５　交付金事業の概要

（１）大型ごみ収集オンライン受付事業

住民の利便性向上のため、受付センターを一元化した上で、従来の電話に加え、インターネットでの２４時間受付に対応する。また、支払い方法についても現金・納付券シールに加え、キャッシュレス決済による支払いを可能とする。

（２）スマート檻罠・鳥獣害捕獲確認システム等を利用した鳥獣害対策の効率化

野生鳥獣による農産物被害は年々増加傾向にあり、農林事業者が安心して生産活動を行うことができる環境を整えるため、ＩＣＴを活用したスマート檻罠や鳥獣捕獲確認システムを導入し、捕獲に係る狩猟者等の労務の省力化・効率化を図る。また、野生鳥獣の生息域や被害対策の実施状況、捕獲情報等をマッピングし、データに基づいた効率的な捕獲や対策につなげる。

（３）とりみち info＝鳥取市版簡易スマートモビリティ事業

除雪状況確認用に整備した「とりみち info」を通常時にも活用するため、行政と市民の双方が収集した道路の通行状況や通行止めなどの情報を公開するシステムを構築する。これにより、市民が最新の道路状況を取得することで最適な移動手段が選択できるようになるなど、安全で効率的な移動が可能となる。また、蓄積した情報を市民生活の向上に活用するため、可能な限りオープンデータ化し、二次利用を促進する。

（４）IoT センサーを利用した中心市街地の駐車場混雑状況見える化

鳥取市では中心市街地活性化基本計画を策定し、広域から様々な人々が中心市街地に集うことで、地域や多世代がつながり、賑わいや活力のある、山陰東部の中核を担う中心市街地を目指した取り組みを行っている。

中心市街地のエリアの１つである鳥取城跡周辺地区において、観光交流等による来街者の受け入れ態勢を強化するため、来街者が鳥取城跡周辺地区の駐車場の空き状況をスマートフォン等でリアルタイムに確認できるシステムを構築し、鳥取城跡周辺地区へのアクセスの向上と観光交流の促進を図る。

6　事業実績の概要

事業名（実施期間）		総事業費（うち交付金充当額）	指標	目標値（R5）	実績値（R5）	内部評価	外部評価
1	大型ごみ収集オンライン受付事業	5,896 千円（2,948 千円）	インターネットからの申込割合	5%	37%	①地方創生に非常に効果的であった	①KPI 達成に有効であった
			従来の受付時間外の申込件数	210 件	1164 件		
			大型ごみ収集受付サービスの満足度	50%	58%		
2	スマート檻罠・鳥獣害捕獲確認システム等を利用した鳥獣害対策の効率化	16,031 千円（8,015 千円）	スマート檻罠・鳥獣捕獲確認システム利用者数	100 人	20 人	②地方創生に相当程度効果があった	③KPI 達成にあまり有効とは言えない
			スマート檻罠・鳥獣捕獲確認システム利用者満足度	60%	未計測		
			農作物被害額	26,000 千円	10,997 千円		
3	とりみち info＝鳥取市版簡易スマートモビリティ事業	70,000 千円（35,000 千円）	サイトへのアクセス数	50 件	393 件	①地方創生に非常に効果的であった	②KPI 達成にある程度有効であった
			市民等からの投稿件数	100 件	399 件		
			市民等からの投稿利用者数	50 件	62 件		
			サービスの満足度	50%	未計測		
4	IoT センサーを利用した中心市街地の駐車場混雑状況見える化	8,069 千円（4,034 千円）	システムへの年間アクセス数	4,400 回	未計測	評価対象外	評価対象外
			鳥取城跡周辺地区の観光客数	3,666 人	3,671 人		
合計		99,996 千円（49,997 千円）					

デジタル田園都市国家構想交付金事業の評価について

・国が定める以下の区分に基づき評価を行っています。

● 内部評価について

評価区分		例
①	地方創生に非常に効果的であった	全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②	地方創生に相当程度効果があった	一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③	地方創生に効果があった	KPIの達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組みが前進・改善したとみなせる場合
④	地方創生に対して効果がなかった	KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合

● 外部評価（総合企画委員による評価）について

評価区分	評価の内容
①	KPI達成に有効であった
②	KPI達成にある程度有効であった
③	KPI達成にあまり有効とは言えない
④	KPI達成に有効とは言えない

令和５度デジタル田園都市国家構想交付金事業評価シート

事業	「再エネ地産地消の推進」×「次世代農業の推進」×「鳥取型ワーケーションの推進」によるSDGs未来都市型ローカルイノベーション

①基本事項

事業タイプ	横展開タイプ	事業分野	しごと創生	実施期間	R3年度～R7年度

②事業概要

鳥取市による『サスティナビリティ×イノベーションで「農村から真の持続可能なまち」を実現する』提案が優れた内容と認められ、令和３年度SDGｓ未来都市に選定された。SDGs未来都市として目指すゴールへ向けて、市民、企業、団体等の多様なステークホルダーと連携・協働しながら、「生産性の高い次世代農業の育成支援」、「新たな電源供給モデルの実用化支援」、「新たなワーケーションプログラムの創出支援」など、具体的な施策を進める。

③令和５年度実施事業

事業番号	事業名	概要	主な実績	担当部（局）課等 実施事業を含む予算中事業名
1	持続可能な農業経営に向けた取組み	**（1）リサイクル材活用支援補助金** 環境に優しく生産性の高い農林水産業を推進するため、地元リサイクル材を活用した農林水産業の実施に係る経費の一部を支援する。	●ホームページでの情報発信や、関心ある企業に対して制度紹介をしたが、実績は0件であった。	経済観光部 経済・雇用戦略課 スマートエネルギータウン推進室 SDGｓ未来都市推進事業
		（2）自然エネルギーを活用したスマート農業実装支援補助金 再生可能エネルギー100%の電力を活用したスマート農業モデル（畜産農業を含む。）の事前調査及び実装に係る経費の一部を支援する。	●ホームページでの情報発信や、関心ある企業に対して制度紹介をしたが、実績は0件であった。紹介した企業の中には、令和6年度の活用を検討している企業がいるため、引き続き連携を取り、補助金活用に繋げる。	経済観光部 経済・雇用戦略課 スマートエネルギータウン推進室 SDGｓ未来都市推進事業
2	都市部から地方への人材確保の取組	**（1）ワーケーションプログラム費開発支援補助金** 都市部等に在住する企業人材を対象とし、本市の施策に合致した本市ならではの環境や人材を生かしたワーケーションプログラムの開発に係る経費の一部を支援する。	●鳥取県外に本社のある企業から6社15名が参加した。本プログラム終了後も、プログラムの際に提案された事業が継続することになった。また、事業に引き続き関わっていく参加者もいるため、新たな関係人口の構築に繋がっている。（令和5年度実績1件、2,787千円）	経済観光部 経済・雇用戦略課 スマートエネルギータウン推進室 SDGｓ未来都市推進事業

事業	「再エネ地産地消の推進」×「次世代農業の推進」×「鳥取型ワーケーションの推進」によるSDGs未来都市型ローカルイノベーション

事業番号	事業名	概要	主な実績	担当部（局）課等 実施事業を含む予算中事業名
2	都市部から地方への人材確保の取組	**（1）ワーケーションプログラム費開発支援補助金** 本市ならではの環境や人材を生かしたワーケーションプログラムを開発する事業を支援することにより、関係人口の増加を図る。	●県外企業と県内企業等に所属する若者（主に20～30代）を対象として、鳥取の未来について思考し共創する体験とつながりを育むワーケーションプログラムを実施。36名が参加し、関係人口の創出に繋がった。 （令和5年度実績1件、補助金額770千円）	経済観光部 企業立地・支援課 関係人口推進事業費
		（2）とっとりワーケーションネットワーク協議会運営支援 鳥取市、鳥取県、鳥取商工会議所、麒麟のまち観光局や各ステークホルダーとともに2022年4月に設立した「とっとりワーケーションネットワーク協議会」の運営を支援する。	●とっとりワーケーションネットワーク協議会に対し、補助事業として運営支援を行った（補助率1/2、補助金額800千円）。 （協議会の主な事業） ・ワーケーション推進事業（ワンストップ窓口運営、会員が主催するモニターツアー・セミナー・勉強会への協力） ・情報発信事業（HP運営、HP・SNS・情報誌等を活用した情報発信等） ・会員間でのネットワーク構築（会員募集、意見交換）	経済観光部 企業立地・支援課 関係人口推進事業費
		（3）サテライトオフィス等誘致支援業務委託 都市圏等に所在する事務系企業とのオンラインマッチング業務を委託することにより、本市へのサテライトオフィス誘致を進める。	●本市への進出を検討いただける企業を調べるためのフォームマーケティングやテレマーケティングを行い、オンライン説明会及び本市視察の機会を積極的に作ることで、１社の誘致につながった。	経済観光部 企業立地・支援課 SDGｓ未来都市推進事業

事業	「再エネ地産地消の推進」×「次世代農業の推進」×「鳥取型ワーケーションの推進」によるSDGs未来都市型ローカルイノベーション

事業番号	事業名	概要	主な実績	担当部（局）課等 実施事業を含む予算中事業名
2	都市部から地方への人材確保の取組	**（4）地域資源を活用した地域活性化に資する事業支援** 市内企業・団体等と連携し、地域資源を活用して行う地域活性化に資する事業を支援することにより、関係人口の増加を図る。	●県外在住者が、鳥取砂丘や西郷工芸の郷等、本市の地域資源や地域の魅力に触れることができる事業を実施することにより、関係人口の創出に繋がった。 （令和5年度実績2件、補助金額計1,334千円）	経済観光部 企業立地・支援課 関係人口推進事業費
3	持続可能なカーボンフリー社会実現の取組み	**（1）エネルギー地産地消まちづくり実証研究会（仮）による実証事業支援** エネルギーの地産地消により生み出される電力の活用や、持続可能なまちづくりを形成されるために行う、市民サービスの向上に繋がる実証事業に係る経費の一部を支援する。	●ホームページでの情報発信や、関心ある企業に対して制度紹介をしたが、実績は0件であった。令和6年度の活用を検討している企業がいるため、引き続き連携を取り、補助金活用に繋げる。	経済観光部 経済・雇用戦略課 スマートエネルギータウン推進室 SDGｓ未来都市推進事業
		（2）微生物発電実装事業支援補助金 市内農地（耕作放棄地を含む。）を活用した微生物発電の実装及び実装を支援するための経費の一部を支援する。	●年間を通しての屋外実証実験の記録を取ることで、屋内実験では分からなかった環境変動による影響などが明らかとなり、今後実装する上での重要な知見を得ることができた。 （令和5年度実績1件、1,734千円）	経済観光部 経済・雇用戦略課 スマートエネルギータウン推進室 SDGｓ未来都市推進事業
4	1・2・3の取組効果を高める統合的な取組	**（1）SDGｓ未来都市プロジェクト推進協議会の運営** 各ステークホルダーを集めた連絡協議会を立ち上げ、SDGｓ未来都市プロジェクトの経済・社会・環境側面の取り組みの有機的な接続を図る。	●SDGs未来都市推進事務員を配置し、SNSを活用した情報発信を積極的に行った。 ●ステークホルダー連絡協議会を開催し、未来都市計画の進捗を共有し、各ステークホルダー同士が繋がる機会とすることができた。 （令和５年度開催実績：１回）	経済観光部 経済・雇用戦略課 スマートエネルギータウン推進室 SDGｓ未来都市推進事業

事業	「再エネ地産地消の推進」×「次世代農業の推進」×「鳥取型ワーケーションの推進」によるSDGs未来都市型ローカルイノベーション

事業番号	事業名	概要	主な実績	担当部（局）課等 実施事業を含む予算中事業名
4	1・2・3の取組効果を高める統合的な取組	**（2）各種ツールを用いた情報発信、啓発セミナー等の開催** **（3）SDGｓ未来都市啓発用パンフレット印刷** **（4）情報発信用webページの更新・保守** SDGs未来都市啓発用パンフレットの作成、情報発信用Webページの更新・保守、情報発信用動画の作成を行う。 「SDGs」とは何か、「鳥取市SDGs未来都市」とはどんな取り組みか、啓発するためのセミナー等を開催する。	●SDGs未来都市パンフレット・ワーケーションガイドを更新し、啓発を行った。 ●本市の取組を周知するためSDGs未来都市特設サイトの運営・保守を行った。 ●未来都市計画環境面の取組を題材としたYouTubeショート動画を31本作成した。 ●地元企業を対象として、DXやGXの視点を踏まえた、SDGs経営の実践に向けたセミナーを２回開催した。 SDGs×DXセミナー：参加申込者数４９人 SDGs×GXセミナー：参加申込者数８７人	経済観光部 経済・雇用戦略課 スマートエネルギータウン推進室 SDGｓ未来都市推進事業
		（5）ステークホルダーを含めた積極的な情報発信 SDGs未来都市のステークホルダーが行う、本市内の取組やイベント等について、県外企業や個人の誘客に繋がるプロモーション活動に係る経費の一部を支援する。	●ステークホルダー自らが県外企業へ広報を行い、未来都市計画の周知を図った。（令和5年度実績3件、1,364千円）	経済観光部 経済・雇用戦略課 スマートエネルギータウン推進室 SDGｓ未来都市推進事業
		（6）啓発事業等の開催 「SDGs」や「SDGs未来都市」に関する取り組みについて市民や事業者に啓発するため、フォーラムやセミナーを開催する。また、市内小学校や小学生を対象に、企業見学会や出前授業、ワークショップ等を開催し、SDGsに関する理解や関心を深め、省エネ活動等の推進につながる取り組みを展開する。	●脱炭素社会の推進について方法論を学ぶ座学と地域の最先端環境配慮型施設見学を行う「環境出前授業」を実施した。 参加校　：12校 参加人数：426人 ●家庭で日常的に省エネに取り組む「こども省エネチャレンジ」を実施した。 応募人数：176人 ●環境ワークショップ 開催回数：2回 参加人数：96人 ●市民・事業者・行政のそれぞれが実践できる地球温暖化対策について学ぶ、社会人向け「環境・エネルギーセミナー」を開催した。 参加人数：84人	市民生活部環境局 生活環境課 環境教育推進費

事業	「再エネ地産地消の推進」×「次世代農業の推進」×「鳥取型ワーケーションの推進」によるSDGs未来都市型ローカルイノベーション

④事業費について

総事業費		20,281,619	円
財源内訳	地方創生推進交付金（国補助金）	10,140,809	円
	その他の特定財源	0	円
	一般財源	10,140,810	円

⑤重要業績評価指標（KPI）

指標1

指標名	鳥取市SDGｓ未来都市の構想に基づいた事業への参画企業数（社／年度）					
関連する事業番号	1・3・4	担当部（局）・課等	経済観光部　経済・雇用戦略課 スマートエネルギータウン推進室			
	基準値 R2年度	R3年度	R4年度	R5年度		
目標値	－	15	37	62		
実績値	0	15	20	49		
達成率		100.0%	54.1%	79.0%		

指標2

指標名	再生可能エネルギーを活用した農産物出荷額（千円／年度）					
関連する事業番号	1	担当部（局）・課等	経済観光部　経済・雇用戦略課 スマートエネルギータウン推進室			
	基準値 R2年度	R3年度	R4年度	R5年度		
目標値	－	500	800	1,300		
実績値	0	4,680	15,327	21,801		
達成率		936.0%	1915.9%	1677.0%		

指標3

指標名	ワーケーションをきっかけとした移住相談者数（人／年度）					
関連する事業番号	2	担当部（局）・課等	経済観光部 企業立地・支援課			
	基準値 R2年度	R3年度	R4年度	R5年度		
目標値	－	0	15	25		
実績値	0	0	0	0		
達成率		-	0.0%	0.0%		

事業	「再エネ地産地消の推進」×「次世代農業の推進」×「鳥取型ワーケーションの推進」によるSDGs未来都市型ローカルイノベーション

内部評価	
③	**内部評価基準** **①地方創生に非常に効果的であった** 全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合 **②地方創生に相当程度効果があった** 一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合 **③地方創生に効果があった** KPIの達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組みが前進・改善したとみなせる場合 **④地方創生に対して効果がなかった** KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合 **⑤評価対象外** 事業を実施しなかった場合

⑥今後の方針について	
事業番号１	持続可能な農業経営に向けた取組として、環境に優しいスマート農業の実践モデルを市内に増やすため、農業参入を希望される企業とのマッチング活動を引き続き進めていく。また、スマート農業誘致に関する広告掲載やSNSを活用した情報発信などを積極的に行うことで、関心ある県外企業への周知を図る。
事業番号２	都市部から地方への人材確保の取組を進めていくため、本市SDGs未来都市のステークホルダーと連携しながら、中長期にわたるワーケーションプログラムの実施に向けた調整を引き続き行う。本市の地域課題に触れる機会を作り、本市に魅力を感じていただける方を増やすことで、プログラム終了後も参加者と継続的に交流できる関係性を築いていく。 また、都市圏企業による地方進出のきっかけづくりのため、引き続き「とっとりワーケーションネットワーク協議会」の運営を支援し、市内を舞台にしたワーケーションを実施する。また各種ワーケーション事業の実施に当たっては、関係人口創出に関する知見のある市内事業者等と連携することにより、都市部の人材のニーズに即した内容となるよう事業を進めていく。
事業番号３	今後、耐用年数を迎えた太陽光発電パネルの大量廃棄が想定されている。この問題を解決するため、パネルのリサイクルを推進するだけでなく、パネルのリサイクル材を活用した事業に対して支援を行う。また、脱炭素先行地域の取組との連携を図り、より効果の高いカーボンフリーなまちづくりを引き続き進めていく。
事業番号４	SDGs未来都市に関する事業について、効果を高める統合的な取組として、SDGs未来都市計画に関する既存動画の構成を見直し、ブラッシュアップを図る。また、リスティング広告やYouTube等への広告掲載を行い、SDGs未来都市特設webサイトへ誘導することで、本市の取組に関心を持つ企業の参画を促す。 啓発等については、環境問題の解決に向けた正しい知識を習得し、日常生活においてECOを意識し実践できる「人づくり」を目指し、参加者の年齢・属性等に配慮した様々なセミナーやワークショップ等の啓発事業を実施していく。

事業	「再エネ地産地消の推進」×「次世代農業の推進」×「鳥取型ワーケーションの推進」によるSDGs未来都市型ローカルイノベーション

⑦総合企画委員評価（外部評価）

外部評価	外部評価基準
③	①KPI達成に有効であった ②KPI達成にある程度有効であった ③KPI達成にあまり有効とは言えない ④KPI達成に有効とは言えない

意見等No.	事業番号	ご意見・ご質問等の内容	担当課回答	担当課
1	1	県外での情報発信に加え、県内企業の参入・参画を促すような取り組みはできないか。	企業による農業参入の取組は、県外企業だけでなく、県内企業も対象としており、情報発信だけでなく、個別の企業訪問等による啓発も行っています。 今後も、県内企業での参入・参画が増えていくよう、積極的な啓発活動を続けていきます。	経済観光部 経済・雇用戦略課 スマートエネルギータウン推進室
2	1	他県でのスマート農業事業の成功例等を用いての周知が必要なのでは	本市が紹介している、温泉熱を活用したスマート農業の経営モデルは企業からの関心も高く、多くの方が視察に訪れています。 他県でのスマート農業の成功例に関しても、農業参入に効果がある事例については積極的に紹介していきたいと考えています。	経済観光部 経済・雇用戦略課 スマートエネルギータウン推進室
3	1	再生エネルギー100%の電力活用した農産物は具体的に何か。また、その普及は可能か。達成率が100%を超えるのは計画値がどうであったか。	株式会社メイワファームHYBRIDが生産する「いちご」が、KPI達成に寄与しました。再生エネルギー100%の電力活用は他企業でも実現できるため、他の品目でも普及可能であると考えています。 計画値の策定時点は、当社が電力活用する事が想定できなかったため、当社の電力活用が、結果的にKPI達成に大きな影響を受けてしまったものです。	経済観光部 経済・雇用戦略課 スマートエネルギータウン推進室
4	3	再エネを太陽光発電に頼ると、どうしてもパネル廃棄の問題が避けられない。	2030年代後半以降、使用済み太陽光パネルの排出量が大幅に増大すると想定され、パネル大量廃棄の問題は避けられないものとなっています。この問題の解決のため、パネルリサイクル材を活用した事業を手掛ける事業者に対して支援を行いビジネスベースで循環できる仕組みづくりを進めています。リサイクルによって生み出される素材の活用事例を増やしていき、将来起こり得る太陽光発電パネルの大量廃棄問題の解決を目指します。	経済観光部 経済・雇用戦略課 スマートエネルギータウン推進室

事業	「再エネ地産地消の推進」×「次世代農業の推進」×「鳥取型ワーケーションの推進」によるSDGs未来都市型ローカルイノベーション

意見等No.	事業番号	ご意見・ご質問等の内容	担当課回答	担当課
5	4	「未来都市」がどういうものかあまりピンとこない。啓発活動も必要なのかわからない。	SDGs未来都市は、自治体によるSDGsに資する取組が秀逸で、他の自治体の規範になると内閣府が選定した都市のことです。 SDGs未来都市に選定されることで本市の知名度が向上し、他の企業や団体が本市での事業活動を開始するきっかけになるため、啓発活動を継続していく事で、本市の地域経済の活性化に繋げていきたいと考えています。	経済観光部 経済・雇用戦略課 スマートエネルギータウン推進室
6	1～4	実績「0」件の事業もあり、全体的に各年度の事業検証を十分に実施し、PDCAを廻すことで実行性を高める必要があると思います。	現在行っている事業検証に関しては、国に対し、本市SDGs未来都市の進捗状況を各年度で報告し、達成度を明確にすることとしています。進捗状況をもとに「自治体ＳＤＧｓ推進評価・調査検討会」が開催され、有識者からフィードバックをいただいています。実績「0」件の事業に関しては、効果が無いと思われるものは大きく見直しを図り、企業から関心をいただいているものに関しては、定期的な意見交換を行い、補助制度の活用を促します。	経済観光部 経済・雇用戦略課 スマートエネルギータウン推進室

令和５度デジタル田園都市国家構想交付金事業評価シート

事業	麒麟のまち圏域の魅力アップによる持続可能な圏域活性化事業

①基本事項

事業タイプ	横展開タイプ	事業分野	まちづくり	実施期間	R4年度～R6年度

②事業概要

麒麟のまち圏域の地方創生に向けて、地域の課題解決に取り組む人材育成に取り組むとともに、地域資源の魅力向上やエリアプロモーションを行い、まちの魅力アップを図り、地域への愛着度を高め、住む人・来る人に選ばれるまちづくりに取り組む。また、麒麟のまち全体で、観光消費額向上に戦略的に取り組み、圏域経済の活性化を図って稼ぐ地域を創出する。加えて、圏域人口の維持・増加を図るため、持続的な人材確保に向けて、圏域一体となった移住促進と若者定住を進める。

③令和5年度実施事業

事業番号	事業名	概要	主な実績	担当部（局）課等 実施事業を含む予算中事業名
1	まちの魅力アップ事業	**（1）とっとりリーダーアカデミー事業（まちづくりのための人材育成）** 平成23年度より実施した過疎地域等人材養成事業「とっとりふるさと元気塾」を受講したリーダーを中心に、より専門的・実践的な講座でさらに学んでいただき、具体的な活動を立ち上げるような人材の養成を図るとともに、取組を地域全体に波及させ、地域活性化を目指す。	●とっとりふるさとリーダーアカデミーの開催 ゼミ開催及び個別相談を実施し、26名の地域リーダーが誕生した。 【講座開催回数】（計19回） ・開校式の開催　１回 ・テーマ別専門ゼミの開催　７回 ・エリア別地域ゼミの開催　８回 ・麒麟のまち交流ゼミの開催　２回 ・成果発表会の開催　１回	市民生活部 地域振興課 過疎地域振興事業費
		（2）麒麟のまち圏域エリアプロモーション推進事業 麒麟のまち圏域を題材とするSDGsにちなんだ作品を募集し、入賞作品を圏域１市６町で巡回展示する一連のキャンペーン実施をとおして、圏域内の周遊促進を図るとともに、SDGsの普及啓発を行うことで、圏域の持続可能なまちづくりを推進する。	●作品募集期間：令和5年7月7日～9月15日 ・応募作品数：イラスト部門39作品、写真部門34作品（うち審査対象22作品）、川柳部門568作品 ●巡回展開催期間：令和5年11月7日～令和6年3月21日 ・周遊スタンプラリー応募者数：32名	企画推進部 政策企画課 麒麟のまち創生推進事業費

事業	麒麟のまち圏域の魅力アップによる持続可能な圏域活性化事業

事業番号	事業名	概要	主な実績	担当部（局）課等 実施事業を含む予算中事業名
1	まちの魅力アップ事業	**（3）まちなか観光推進事業** 復元整備が進展する史跡鳥取城跡周辺をはじめとしたまちなか観光の新たな魅力の創出により、観光振興及び滞在型観光の推進を図る。 ①鳥取城跡ライトアップ事業 ②鳥取城跡周辺にぎわいづくり事業 ③三階櫓AR作成事業 ④まちなか夜間コンテンツ形成事業	●①鳥取城跡ライトアップ事業 鳥取城跡の石垣及び袋川沿いのライトアップ 期間：7/22～11/26 ●②鳥取城跡周辺にぎわいづくり事業（鳥取市観光コンベンション協会への補助事業） ・鳥取城跡ときめきマルシェの開催：年８回 ・イベントのリサーチと分析：来場者数16,145人、満足度約70% ●③三階櫓AR作成事業 鳥取城二ノ丸三階櫓ARの作成と運用 ●④まちなか夜間コンテンツ形成事業 若桜街道商店街での影絵投影及び提灯点灯の実証事業の実施	経済観光部 観光・ジオパーク推進課 まちなか観光推進事業費
		（4）地域の魅力創出事業 鳥取市・岩美町・八頭町が連携し「鳥取すごい！ライド」を開催する。 参加者が自転車で巡りながら、豊かな自然や美味しいグルメを楽しむイベントを開催することで周遊観光の取組を推進する。併せて本市の「自転車が走りやすい、走ってみたいまち」というイメージを全国に発信する。	●鳥取砂丘や浦富海岸などのジオスポットや吉岡温泉を巡る自転車周遊イベントへの支援 ・大規模周遊自転車イベント運営補助金 ・鳥取すごい！ライド２０２３ 　参加者　530名（ゲスト・サポートライダー29名含む。）	市民生活部 地域振興課 地域の魅力創出事業費
2	広域観光推進事業	**（1）周遊促進事業** SNSによる観光情報を発信し圏域内の周遊促進を図る。 **（2）流通整備事業** 大阪・関西万博の開催等を見据えたインバウンド需要獲得に向けて「ジオパーク」や「ローカル鉄道」をテーマとした広域周遊ルートの造成や旅行商品販売環境の整備を図る。 **（3）マーケティング事業** 圏域を訪れる観光客向けに独自のWEBアンケート調査を実施し、観光消費額や旅行満足度等の推移を把握することで戦略的な観光振興を図る。	●周遊促進事業 若年層を意識した動画等217件を配信。 閲覧数295,757件、いいね：11,818件 ●流通整備事業 ①３DMO連携山陰海岸ジオパークをテーマとしたルート造成等 ②ローカル鉄道をテーマとしたルート造成等 ●マーケティング事業 令和5年度総回答件数：3,499件	経済観光部 観光・ジオパーク推進課 広域観光開拓・推進事業費

事業	麒麟のまち圏域の魅力アップによる持続可能な圏域活性化事業

事業番号	事業名	概要	主な実績	担当部（局）課等 実施事業を含む予算中事業名
2	広域観光推進事業	**（4）DMO運営支援** 地域連携DMO（麒麟のまち観光局）の運営を支援し、鳥取県東部・兵庫県北但西部１市６町への誘客や周遊促進に取り組み、観光消費の拡大を目指す。	●理事長、常勤専務理事、事務局次長、事業部長、スタッフ3名の体制。 令和5年度は、圏域の観光DX化を図るため、宿泊データ分析システムや、観光CRMシステムの開発・導入に取り組んだ。 観光CRMシステムは、「このへん共和国」とネーミングし11月から本格運用を開始。 ・会員登録数：6,678人 ・参画店舗数：184店	経済観光部 観光・ジオパーク推進課 広域観光開拓・推進事業費
3	圏域人口対策事業	**（1）移住定住相談会への出展（現地・オンライン）** 鳥取県東部圏域１市４町及び兵庫県北西部２町で移住相談会に合同出展し、圏域の魅力を発信、移住相談を実施することにより、圏域への移住定住の促進を図る。	●ふるさと回帰フェアへの合同出展 おいでや！いなか暮らしフェア２０２３（大阪府）への出展。圏域で延べ２９組３７名来場 ふるさと回帰フェア（東京都）への出展。圏域で延べ３９組５２名来場 ●鳥取市への移住促進パンフレットやお試し定住体験住宅のリーフレット作成 ・移住定住相談会やその後の相談対応の際に活用するリーフレットを作成。	市民生活部 地域振興課 人材誘致・定住促進対策事業費
		（6）移住相談会へのブース出展 **移住相談会に出展し、圏域の魅力を発信、移住相談を実施することにより、圏域への移住定住の促進を図る。**	●県Big相談会への出展 （東京）延べ１６組１９名来場 （大阪）延べ１２組２６名来場 ●中四国フェアへの出展 延べ１０組１４名来場	市民生活部 地域振興課 人材誘致・定住促進対策事業費

事業	麒麟のまち圏域の魅力アップによる持続可能な圏域活性化事業

事業番号	事業名	概要	主な実績	担当部（局）課等 実施事業を含む予算中事業名
3	圏域人口対策事業	**（2）若者定住に向けた婚活支援事業** 麒麟のまち婚活サポートセンターの運営により、婚活イベントの開催やフォローアップをすることで出会いから成婚までのサポートを行い、若者世代の定住を図る。	・イベント実施件数67件 ・イベント参加者数933人 ・カップル成立数100組 ・会員同士の成婚報告数1組 ・会員以外との成婚報告者数19人	企画推進部 政策企画課 若者定住促進事業費
		（3）鳥取市・麒麟のまち圏域魅力発見支援事業 本市に所在する大学または専門学校が、学生を対象に実施する麒麟のまち圏域の企業への就職促進活動や魅力発見活動を支援し、若者定住につなげる。	●学生が麒麟のまち圏域内に住み続けたいと思えるような魅力を発見するための事業への補助　２件 ●学生の麒麟のまち圏域内への就職を促進する事業及び学生が麒麟のまち圏域内に住み続けたいと思えるような魅力を発見するための事業への補助　１件	企画推進部 政策企画課 鳥取市・麒麟のまち圏域魅力発見支援事業費

事業	麒麟のまち圏域の魅力アップによる持続可能な圏域活性化事業

④事業費について

総事業費		73,285,767	円
財源内訳	地方創生推進交付金（国補助金）	36,642,883	円
	その他の特定財源	0	円
	一般財源	36,642,884	円

⑤重要業績評価指標（KPI）

指標1

指標名	アカデミー参加者による地域課題の解決に取り組むリーダーの認定者数（人／年度）					
関連する事業番号	1	担当部（局）・課等	市民生活部 地域振興課			
	基準値 R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
目標値	－	5	5	5		
実績値	292	27	26			
達成率		540.0%	520.0%			

指標2

指標名	圏域の観光消費額（円／年度）					
関連する事業番号	1・2	担当部（局）・課等	経済観光部 観光・ジオパーク推進課			
	基準値 R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
目標値	－	29,670	34,121	39,239		
実績値	25,800	26,570	26,480			
達成率		89.6%	77.6%			

指標3

指標名	鳥取市の延べ宿泊者数（人／年度）					
関連する事業番号	1・2	担当部（局）・課等	経済観光部 観光・ジオパーク推進課			
	基準値 R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
目標値	－	294,964	295,964	296,964		
実績値	293,964	288,010	311,952			
達成率		97.6%	105.4%			

指標4

指標名	麒麟のまち圏域への移住者数（人／年度）					
関連する事業番号	3	担当部（局）・課等	市民生活部 地域振興課			
	基準値 R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
目標値	－	713	737	771		
実績値	699	723	750			
達成率		101.4%	101.8%			

事業	麒麟のまち圏域の魅力アップによる持続可能な圏域活性化事業

内部評価	
②	**内部評価基準** **①地方創生に非常に効果的であった** 全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合 **②地方創生に相当程度効果があった** 一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合 **③地方創生に効果があった** KPIの達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組みが前進・改善したとみなせる場合 **④地方創生に対して効果がなかった** KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合 **⑤評価対象外** 事業を実施しなかった場合

⑥今後の方針について	
事業番号１	令和２年度より実施した過疎地域等人材養成事業「とっとりふるさとリーダーアカデミー」を令和５年度より「とっとりリーダーアカデミー」と改め、今までに受講したリーダーを中心に、より専門的・実践的な講座でさらに学んでいただき、具体的な活動を立ち上げるような人材の養成を図るとともに、取組を地域全体に波及させ、地域活性化を目指す。「鳥取すごい！ライド2024」は、令和６年9月29日に開催予定としている。 麒麟のまちエリアプロモーションについては、令和６年度は、Instagramを活用した写真投稿型のキャンペーンを実施することにより、圏域内周遊を促進するとともに、圏域の魅力を様々な角度から発信することで、圏域住民の愛着度・認知度向上や圏域外への魅力発信につなげる。 まちなか観光推進事業としては、鳥取城跡ライトアップ等事業の継続実施・拡張、史跡鳥取城跡周辺をはじめとしたまちなかの恒常的なにぎわい創出等により、まちなか観光の魅力創出、観光振興及び滞在型観光の推進を図る。
事業番号２	地域連携DMO「麒麟のまち観光局」の運営支援の継続による観光DX化の促進と戦略的な観光振興策の展開、及び観光消費を高めるための販売力強化等を行うことで、さらなる圏域の観光振興を図る。
事業番号３	婚活支援事業としては、昨年度に引き続き、婚活アドバイザーに本事業アドバイザーに就任いただき事業のブラッシュアップを図る。また、引き続き会員へのフォローアップを充実させるとともに、従来の婚活イベント等に加え、会員が定期的に活動する機会を提供し、会員同士の交流を図るなど、カップル成立から交際、さらには成婚につなげられるよう取り組む。 移住、若者定住については、令和5年度は新型コロナウイルス感染症の5類への移行により人の動きが活発になり、移住定住相談会来場者が増加した。引き続き、全国規模の相談会に圏域で連携して出展することで、移住希望者のニーズ把握や移住者数の増加につなげていきたい。 また、就職を理由とする若者の都市部への流出が続いているため、市内の大学や専門学校が、学生を対象に実施する麒麟のまち圏域の企業等への就職促進活動や魅力発見活動の支援を継続し、若者定住につなげていく。

事業	麒麟のまち圏域の魅力アップによる持続可能な圏域活性化事業

⑦総合企画委員評価（外部評価）

外部評価	外部評価基準
②	①KPI達成に有効であった ②KPI達成にある程度有効であった ③KPI達成にあまり有効とは言えない ④KPI達成に有効とは言えない

意見等No.	事業番号	ご意見・ご質問等の内容	担当課回答	担当課
1	1	(1)について、既に地域活性をテーマに活動している人/企業で、とっとりリーダーアカデミーには参加する人は少なそう。棲み分けて、人材の発掘に重きをおいてもっと広く集めていきたい。そこで集まった人員を、既に活動している人/企業に繋いでいければ意味があるか。	「とっとりリーダーアカデミー」は、今までに受講した地域リーダーに加え、大学生や若者など新たな人材にも多く参加いただきました。 また、このアカデミーは、専門的・実践的な講座を受講し学ぶだけではなく、既に活動している地域リーダーや企業と交流できる場にもなっています。 今後も、具体的な活動を立ち上げるような人材育成を図るとともに、取組を地域全体へ波及させ、地域の活性化を目指していきます。	市民生活部 地域振興課
2	1	(2)について、広く知らせるだけだとなかなか具体的な行動には繋がりづらいか。影響力ある人/企業に直接アプローチし、具体的なSDGsの取組を実施～発信してもらうのも大事。	本事業では、県が任命した「とっとりSDGs伝道師」に事業のアドバイスをいただきながら進めるとともに、キャンペーン公式Instagramを開設し、圏域のSDGs関連情報発信を行ってきたところです。ご意見いただきましたように、影響力のある方/企業にご協力いただき取組を発信いただくことで、更なる普及啓発の効果も期待されますので、今後の取組の参考とさせていただきます。	企画推進部 政策企画課
3	1	(3)について、限定的なイベントも盛り上がるが、周辺のお店への波及効果をもっと目標とすることが重要。もちろん、周辺に魅力的なお店を増やしていくことも大切。	本事業は、復元整備の進む史跡鳥取城跡の観光拠点としての磨き上げと、周辺商店街エリアも含む中心市街地一帯の観光資源としての魅力向上を目的とするもので、各種ライトアップなど夜間景観形成に伴う誘客促進とともに、商店街と連携した取り組みへ発展させ、地域の観光消費拡大へつなげていきたい考えです。 また、令和6年7月から鳥取城跡に隣接する桜寛苑（国重要文化財）土蔵を活用した観光拠点実証事業に取組んでおり、物販や簡易カフェ営業を行い、魅力向上を図っているところです。	経済観光部 観光・ジオパーク推進課

事業	麒麟のまち圏域の魅力アップによる持続可能な圏域活性化事業

意見等No.	事業番号	ご意見・ご質問等の内容	担当課回答	担当課
4	1	(4)について、何もなかったところに新しいレイヤーを追加することで意味を持たせた面白い取組。沿線のお店などへもっと直接アプローチして協力を募りルート全体で盛り上げたい。	鳥取すごい！ライド2023では、ロングコースで6か所、ショートコースで４か所のエイドステーションを設け、地域の絶品グルメを味わっていただき好評を得ました。沿線上のお店などへのアプローチついても、どのようなご協力がいただけるか検討してみたいと考えます。	市民生活部 地域振興課
5	1	「とっとりリーダーアカデミー」→「麒麟のまちリーダーアカデミー」としてはどうでしょうか。目標値5人は少なすぎるのでは。	名称について貴重なご意見ありがとうございます。とっとりリーダーアカデミーでは、麒麟のまち圏域でのゼミを実施することで、圏域の方に多く参加いただいております。 また、大学生や若者へも広く周知したことで、参加者が増加し、目標値を大幅に達成する結果となったものです。 次年度の目標値については、国の制度上の都合により、修正できかねますが、引き続き多くの方に参加いただき、地域の活性化に取り組むことができる人材の育成に努めます。	市民生活部 地域振興課
6	1	当事業により人材確保につながり、どのように効果があったのか。また移住促進につながったのかがわかりにくいと思いました。	「とっとりリーダーアカデミー」では、大学生にも参画いただいており、これにより地域の魅力に気づき、地域に積極的に関わる関係人口の創出に繋がっています。関係人口の創出は、本市の人材確保につながり、将来的には移住定住も期待されるものであると考えております。	市民生活部 地域振興課
7	2	域外への発信と合わせて、域内への広報も強化し「麒麟のまち」当事者意識を醸成したい。DXなども大切だが、まずは一つ一つの店や宿泊施設が魅力ある場になることが大事なので、その支援予算の割合を高めることも検討したい。	令和５年１１月以降に導入した観光DX「このへん共和国」は、圏域のファンサイトとして約７千人の会員が登録をしており、うち３割が圏域内在住者となっています。電子クーポンの発行や頻度の高い情報発信による圏域内周遊や、観光消費の拡大を促せることから今後も有効活用を図っていきます。また、観光誘客に有効な店舗や宿泊施設等の魅力向上に対しては、本市支援制度のさらなる活用促進や、国の支援制度活用に伴う連携など柔軟に対応していく考えです。	観光・ジオパーク推進課
8	2	KPIの目標値の数値の単位（円/年度）が不明です。R5年度34,121円/年は何を意味しているのか。	（一社）麒麟のまち観光局が実施する観光客を対象にした独自WEBアンケート結果をもとに、年度内に圏域を訪れた全観光客（日帰り、宿泊を問わない）の宿泊・飲食・お土産代など観光消費の一人当たりの平均額を示しているものです。	経済観光部 観光・ジオパーク推進課

事業	麒麟のまち圏域の魅力アップによる持続可能な圏域活性化事業

意見等No.	事業番号	ご意見・ご質問等の内容	担当課回答	担当課
9	3	⑴⑹について、地域の魅力はまとめると他地域と大差ないものになってしまう。移住者1人1人が個別で感じた魅力をそのまま伝えるほうが面白いものになることもあるので、パンフレットリーフレット作成の際など、そのことをうまく反映したい。そういう意味では、一気に多くの人とはコミュニケーションを取れないものの個別で魅力を伝えられるイベント出店は大切。1の積み重ね。	移住定住ポータルサイト「とっとりコネクト」に先輩移住者のインタビューを掲載するなど、広報の際にはなるべく個別の声も取り上げ、地域の魅力が様々な人に伝わるよう工夫してまいりました。引き続き、県外イベントへの出展は継続し、多様な背景を持つ移住希望者に寄り添った相談を行ってまいります。	市民生活部 地域振興課
10	3	⑵について、域外の男女も絡めると面白そう。（域外に流出しないよう注意）	麒麟のまち婚活サポートセンターの会員のうち、約１割の方が圏域外に在住されています。また、周辺自治体等が主催する婚活イベント等の情報を会員向けに発信したり、鳥取県の出会いサポートセンターとの共催イベントを実施したりするなど、他団体等と連携した取組も行っているところです。今後も引き続き、周辺自治体等との連携を図り、圏域の地域資源を活用したイベント等を企画し、圏域の結婚機運の醸成・若者の定住促進に努めてまいります。	企画推進部 政策企画課
11	3	⑶について、中高生も対象にし、早期段階から地元意識を醸成したい。	若者定住の推進にあたり、中高生の早期段階からの地元意識の醸成は、大切な取組であると考えます。 本市では、中高生の地元意識の醸成に関連する取組として、麒麟のまち圏域の進路選択前の高校1・2年生を対象に、地域や地元企業について少人数グループでの職場体験を組み合わせた探求学習等を行い、地元企業の魅力的な事業展開や地元で働く意義について体験的に学んでいただく「地元企業早期ブランディング事業」を実施しています。また、麒麟のまち圏域の各市町において、中学校と義務教育学校後期の生徒を対象に、地域での職場体験事業が実施されています。 今後も、教育機関や経済団体など関係者と連携しながら、中高生の地元意識の醸成につながるような取組を検討してまいります。	企画推進部 政策企画課 経済観光部 経済・雇用戦略課 教育委員会事務局 総合教育センター

事業	麒麟のまち圏域の魅力アップによる持続可能な圏域活性化事業

感想等No.	事業番号	ご感想等の内容	担当課
1	1	R5年度の事業は目標値を達成し、成功と言えます。しかし、これらの実績が将来の目標にどう結びつくのかが不明確です。また、目標設定には問題点があり、目標が低く感じられ現状の数字では事業の活気や価値の創出に十分な貢献をしていないように感じます。 次年度への提案として、より具体的な目標設定が必要で、過去の結果を基に具体的な目標を設定し、不足点を明確にし、その改善策を具体的に提示することが重要ではないかと思います。目標の設定は達成可能なものではあるべきですが、同時に賑わいを創出できる目標も設定することが重要だと思います。	企画推進部 政策企画課
2	2	指標2について　圏域の観光消費額が明らかに未達成と思われる。	経済観光部 観光・ジオパーク推進課
3	2	指標3について　延宿泊者数の設定目標値自体がほぼ横ばいの印象があり、有効と判断するに至らず。	経済観光部 観光・ジオパーク推進課

令和５度デジタル田園都市国家構想交付金事業評価シート

事業	「出会い」「集い」「学び」「つながる」舞台芸術を核とした地域活性化事業

①基本事項

事業タイプ	横展開タイプ	事業分野	まちづくり	実施期間	R5年度～R7年度

②事業概要

鳥の劇場は旧鹿野小学校等施設を鳥取市から譲渡され、劇場として運営しているが、老朽化やバリアフリー化の遅れなどの課題を抱えていることから、訪れる人々が安全・安心・快適に過ごすことのできる「みんなの居場所」への進化をめざして、鳥の劇場が実施する施設整備に対する支援を行う。

また、文化芸術の振興による地域活性化を図るため、演劇に関する様々な要素について、幅広い世代が学べる演劇塾の運営に対する支援を行う。さらに、演劇と連携したマルシェ開催や観光体験メニューの商品化、将来的な地域への継続的な訪問に繋げる魅力発信などに対する支援を行う。

③令和5年度実施事業

事業番号	事業名	概要	主な実績	担当部（局）課等 実施事業を含む予算中事業名
1	舞台芸術を核とした交流の拠点づくり	**（1）文化交流拠点整備事業** 演劇を中心とした文化芸術による地域活性化を図るため、地域内外の多様な人々の活動や交流の拠点となる施設の整備に対する支援を実施する。	●旧鹿野小学校解体工事設計及び第１期工事設計監理業務：（株）白兎設計 ●旧幼稚園舎改修工事設計及び設計監理業務：（キノシタヒロシ建築設計事務所） ●旧鹿野小学区解体（１期）及び旧幼稚園改修工事：（株）ながお ●旧幼稚園舎改修及びバリアフリー化冷暖房設備工事：鳥取ビルコン（株） ●アネックス設計業務 新バックヤード等建設：（有）アトリエ・ワン）	企画推進部 文化交流課 舞台芸術×地域活性化事業
2	舞台芸術を核とした人づくり	**（1）演劇塾運営事業** 日本の演劇文化の将来を担う優れた人材の発掘・育成を図るため、演劇の要素である演技、道具・衣装、音楽、脚本、映像制作などに関して学べる演劇塾を運営する。	●演劇塾開催事業 演出家・俳優志望者向け専門講座の開催 〈実施内容〉 期間：令和５年８月７日～１１日（５日間） 参加者：４人 講座：戯曲の読解や短いシーンの創作を通じて、演劇の基本要素である演技、様々な要素を統合して作品として組み立てる演出に関して学べる演劇塾	企画推進部 文化交流課 舞台芸術×地域活性化事業

事業	「出会い」「集い」「学び」「つながる」舞台芸術を核とした地域活性化事業

事業番号	事業名	概要	主な実績	担当部（局）課等 実施事業を含む予算中事業名
2	舞台芸術を核とした人づくり	**（2）麒麟のまちアカデミー運営事業（演劇コース）** 学習意欲のある地域住民に地域の特色を生かした学びの機会の提供を図るため、演劇の要素である演技、道具・衣装、音楽、脚本、映像の制作などに関して学べる講座を開催する。	●市民演劇講座開催事業 市民向け演劇講座の開催 〈実施内容〉 ①中ノ郷地区公民館 期間：９月２６日から全６回 参加者：５人 鑑賞者：２０人 ②あおば地区公民館 期間：１２月２２日から全６回 参加者：４人 鑑賞者：１２人 講座：リーディングによる小作品の創作・上演	企画推進部 文化交流課 舞台芸術×地域活性化事業
		（3）劇場空間体験事業 地域社会の将来を担う優れた人材の育成を図るため、市内の小中学生を対象に、演劇鑑賞やワークショップなどの舞台芸術体験プログラムを実施する。	●劇場空間体験事業 市内小・中学生向け演劇鑑賞・ワークショップの開催 〈実施内容〉 期間：１０月１２日から１１月１日 参加校：７校、３２５人 講座：演劇「がまくんとかえるくん」鑑賞、ワークショップ	企画推進部 文化交流課 舞台芸術×地域活性化事業
		（4）企業研修トライアル事業 演劇手法を活用し、企業の人材育成を図る試行的な取組を実施する。	●企業人材等育成事業 企業の優れた人材の育成を図るため、コミュニケーション能力向上など演劇を活用した研修を実施 〈実施内容〉 期間：令和６年１月１８日から２月２０日 実施社数：４社、２４人	企画推進部 文化交流課 舞台芸術×地域活性化事業

事業	「出会い」「集い」「学び」「つながる」舞台芸術を核とした地域活性化事業

事業番号	事業名	概要	主な実績	担当部（局）課等 実施事業を含む予算中事業名
3	舞台芸術を核とした賑わいづくり	**（1）演劇×マルシェ開催事業** 鳥の劇場と連携し、農業への理解と地域への愛着を深める新たな機会の創出を図る。また舞台公演とあわせてマルシェを開催し、地元農産物を積極的にＰＲし知名度アップを図ることで、本市農業の生産振興及び販路拡大を図る。	●舞台公演マルシェ 開催期間：12日 来店者数：345人 ●６次化新商品開発支援 町内飲食店4店舗にて4件の新商品提供	農林水産部 農政企画課 鳥の農場文化交流創造事業費
		（2）文化芸術観光創造事業（地域連携型体験観光商品造成モデル事業） 特色ある地域資源である鹿野町の「鳥の劇場」で行われている舞台芸術を活用し、教育旅行誘致や誘客イベント開催を通じた観光振興を図る。	●教育旅行誘致事業 関西圏等の旅行会社担当者を対象に鳥の劇場を活用したモニターツアーを実施。 ・参加者数：7社8名 ●ONSENガストロノミーウォーキング開催事業 温泉地を拠点に地元グルメを楽しみながらウォーキングを楽しめるイベントを開催。鳥の劇場でも参加者向けにアトラクションを提供し知名度向上を図った。 ・参加者数：123人 ・イベント満足度：８４％	経済観光部 観光・ジオパーク推進課 文化芸術観光創造事業費
		（3）文化芸術推進事業（鳥の演劇祭） 市民の文化芸術活動の促進や文化芸術に対する意識の高揚を図るため、鳥の劇場及び周辺を会場とする「鳥の演劇祭」の開催に対する支援を実施する。	鳥の演劇祭１６ 鑑賞事業「どろぼうがっこう」開催 〈実施内容〉 演劇「どろぼうがっこう」の公演 期日：９月１８日 鑑賞者：２６３人 鳥の演劇祭全体入場者数：３０００人	企画推進部 文化交流課 舞台芸術×地域活性化事業
		（4）町民音楽祭開催事業 地域の文化芸術振興・魅力ある地域づくり・多世代間交流の促進による住民コミュニティの醸成等を総合的に支援するため、町民ミュージカルの活動に対し補助を行う。 また、鳥の劇場との交流・演技指導により、地域の文化芸術における担い手育成や情報発信の相乗効果が生まれる。	●第３７回鹿野ふるさとミュージカル「音楽劇さくら姫物語」の上演 ・開催日：令和6年2月25日 ・会場：鳥取市民会館 ・来場者数：約700人 ・鳥の劇場との連携を強化し、劇団員から高い芸術性や演劇のノウハウなどの指導を受けながら質の高い舞台づくりに努めた	鹿野町総合支所 地域振興課 町民音楽祭開催費（鹿野町地域振興課）

事業	「出会い」「集い」「学び」「つながる」舞台芸術を核とした地域活性化事業

事業番号	事業名	概要	主な実績	担当部（局）課等 実施事業を含む予算中事業名
3	舞台芸術を核とした賑わいづくり	**（5）わったいな祭事業** 地域住民団体との共催によるイベントをわったいな祭の一環として開催、城下町の空家利用店舗、特産品販売、文化団体の作品展示など地元（じげ）のひと・ものを集める取組を実施する。 また、旧鹿野小学校敷地内の新施設建設を見据え、城下町の空き家利用店舗の出店を鳥の劇場施設に拡大し、舞台芸術を核とした賑わいづくりに向けた事業を実施する。	●鹿野町わったいな祭の開催 ・来場者数：約6,500人 ・城下町並みPR事業：週末だけのまちの店（鳥の演劇祭と連携して開催、開催日：9月16日から10月1日までの土日） ・農産物・特産物販売促進事業：鹿野ええもん市（開催日：5月21日、10月29日） ・河内果樹の里山まつり（11月4日） ・芸能発表、作品展示（鳥の劇場を会場に運営・演出を連携して開催　開催日：10月29日）	鹿野町総合支所 地域振興課 わったいな祭り事業費

事業	「出会い」「集い」「学び」「つながる」舞台芸術を核とした地域活性化事業

④事業費について

総事業費		69,937,636	円
財源内訳	地方創生推進交付金（国補助金）	34,968,818	円
	その他の特定財源	0	円
	一般財源	34,968,818	円

⑤重要業績評価指標（KPI）

指標1

指標名	旧鹿野町への転入者数（人/年度）					
関連する事業番号	1・2・3	担当部（局）・課等	鹿野町総合支所 地域振興課			
	基準値 R3年度	R5年度	R6年度	R7年度		
目標値	―	120	125	130		
実績値	115	33				
達成率		27.5%				

指標2

指標名	文化芸術鑑賞者数（人/年度）					
関連する事業番号	1・2・3	担当部（局）・課等	企画推進部 文化交流課			
	基準値 R3年度	R5年度	R6年度	R7年度		
目標値	―	44,000	58,000	72,000		
実績値	23,969	56,780				
達成率		129.0%				

指標3

指標名	鳥の劇場来場者数（人/年度）					
関連する事業番号	1・2・3	担当部（局）・課等	企画推進部 文化交流課			
	基準値 R3年度	R5年度	R6年度	R7年度		
目標値	―	3,789	4,134	5,168		
実績値	3,445	6,488				
達成率		171.2%				

事業	「出会い」「集い」「学び」「つながる」舞台芸術を核とした地域活性化事業

内部評価	
②	**内部評価基準** **①地方創生に非常に効果的であった** 全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合 **②地方創生に相当程度効果があった** 一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合 **③地方創生に効果があった** KPIの達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組みが前進・改善したとみなせる場合 **④地方創生に対して効果がなかった** KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合 **⑤評価対象外** 事業を実施しなかった場合

⑥今後の方針について	
事業番号１	令和６年度は。地域内外の多様な人々の活動や交流の拠点となる新アネックス（バックヤード等）の整備に対する支援を行う。
事業番号２	令和５年度に引き続き、演劇を活用した地域・次世代・企業等の人材育成のためのワークショップや研修を実施する。
事業番号３	劇場施設整備に合わせ、劇場周辺の遊休農地を利用し実証的に農場を開設し、有機栽培または特別栽培により農産物を栽培する。栽培した農産物の収穫をキャストと観客が実施する等、農業体験を通じて、農産物の特徴・品質等あるいは農業への理解・関心を深めるきっかけとする。 また、公演に合わせたワークショップの開催及びマルシェでの農産物販促や、商品開発及び演劇とのコラボによるプロモーション活動を実施するなど、劇場周辺により多くの人を継続的に誘客できる仕掛けづくりを検討していく。 文化創造観光事業としては、引き続き鳥の劇場と連携した「ONSENガストロノミーウォーキング」イベントやモニターツアーを実施することで、さらなる観光振興を図る。 また、「過疎」をテーマとして海外で活動している詩人を招致し、演劇と合わせた新たな事業の実施に対する支援を行う。
事業番号３	町民音楽祭開催事業について、市民参加型のミュージカルとして、演劇・舞踊・オーケストラ・合唱・地域の芸術家による舞台背景・ユニバーサルなダンス・太鼓などの音源活用など、幅広い分野の共演、鳥の劇場をはじめ県内外の専門チームによる支援などを継続し、質の高い舞台を維持することと同時に次世代育成に注力していく。ミュージカルの継続と地域づくり、人づくりにつながるような活動に努める。 また、わったいな祭事業については、今後も継続して事業を実施するとともに、舞台芸術を核とした賑わいづくり事業の推進を図る。

事業	「出会い」「集い」「学び」「つながる」舞台芸術を核とした地域活性化事業

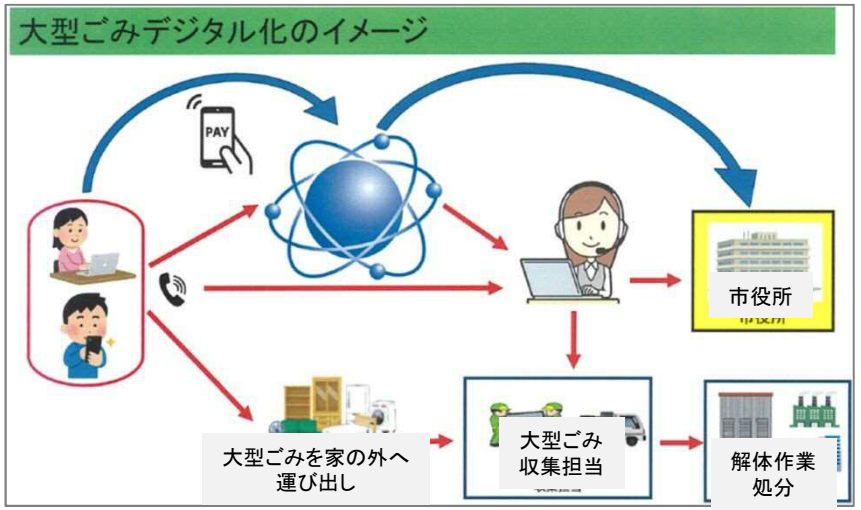
⑦総合企画委員評価（外部評価）

外部評価	外部評価基準
②	①KPI達成に有効であった ②KPI達成にある程度有効であった ③KPI達成にあまり有効とは言えない ④KPI達成に有効とは言えない

意見等No.	事業番号	ご意見・ご質問等の内容	担当課回答	担当課
1	1～3	指標1　関連する事業で転入者の目標値が高すぎるのではないか	平成２７年度から令和４年度の鹿野町への転入者数の平均は９８人であり、達成可能な目標値であると考えています。	文化交流課
2	1～3	指標①～③のうち1つしか達成していませんが、③の来場者数は水物であり、概ね達成でいいと思います。 なお、指標①は何故このような指標が出ているのか分かりません。事業内容にも明確に転入者を増加させるようなものは見当たりませんし、そもそも転入者増は市域全体で推進すべきことで、鹿野地域だけでどうこうする問題ではないと思います。（※この地方創生推進タイプという事業が国の助成絡みで、全国一律の基準を押しつけているのかもしれません。） それよりも、市民の活動・参画型の事業が多く、城下町としての資産や有休農地活用などのコラボ型の事業にも取り組んでおられ、今後とも推進すべきと考えます。 具体的に、広く海外に目を向けた亀井茲矩公などを題材としたイベントができないものでしょうか。	【亀井公を題材としたイベントについて】 当該交付金事業とは別に、亀井公の功績を知ってもらい地域の資源・魅力を掘り起こし、鳥取市西地域に生きる誇りを住民に醸成してもらうため「亀井さん検定」を令和２年度から実施しています。 また、昨年度から城山神社や幸盛寺、譲伝寺などの亀井公縁の史跡をYouTubeで発信する事業も行っており、本事業で城下町を散策する際の一助になっています。 近年、日本のお城や歴史的景観などを観光するインバウンド需要が高まっていることもあり、SNSを活用した海外への情報発信にも力を入れていきたいと考えています。	文化交流課
3	3	劇場施設整備に合わせて遊休農地を利用する試みに興味を惹かれました。とはいえ、片手間では収穫までいかないのではないかと心配です。地域の経験者の協力が必要ですね。	劇場施設整備に併せ周辺環境の改善を目的に、地権者の同意を得て耕作放棄地の解消ができました。 また、生産・栽培に関しては有機栽培を手掛ける生産者と鳥劇キャストに、農地の維持管理については地元NPO法人に、成果物の販売は、マルシェ等イベントを手掛ける一般社団法人にそれぞれ役割分担し連携を図ることで、農地の保全と農産物の生産をバランスよく手掛けることができました。	農政企画課

事業概要 【大型ごみ収集オンライン受付事業】

1

事業概要	住民の利便性向上のため、受付センターを一元化した上で、従来の電話に加え、インターネットでの２４時間受付に対応する。また、支払い方法についても現金・納付券シールに加え、キャッシュレス決済による支払いを可能とする。	
具体サービス	【大型ごみ収集受付サービス】 • 収集申込受付 • キャッシュレス決済	
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①インターネットからの申込割合	【アウトカム指標（成果指標）】 ①従来の受付時間外の申込件数 ②大型ごみ収集受付サービスの満足度

サービス内容（政策目的への適合性）

■ 事業の実施によって解決を図る課題及び実現したい地域像

■事業の実施によって解決を図る課題

鳥取市では市内５地域に大型ごみ受付センターが設置されている。
現在は、大型ごみの収集を希望する住民は各受付センターに依頼する必要があり、受付方法は電話のみ、受付時間は平日の８：３０～１６：３０に限定されている。また電話回線が限られるため、申し込みが集中する引越シーズンの春などは電話が繋がりにくくなり、受付までに時間がかかることが多い。さらに、支払方法は現金または納付券シール事前購入のいずれかの方法となっている。受付時間内に申し込みが困難な方への対応、パソコンやスマートフォン等を活用したインターネット申し込み、決済手段の充実の実現が近年の課題となっている。

■事業の実施により将来的に実現したい地域像

本事業の実施により、２４時間受付に対応することで、利用者の利便性の向上と申込数の増加を図り、また、キャッシュレス決済の実現による支払方法の多様化と支払時間の大幅短縮などにより、多様な市民ニーズに対応した大型ごみ受付サービスの提供が可能となる。

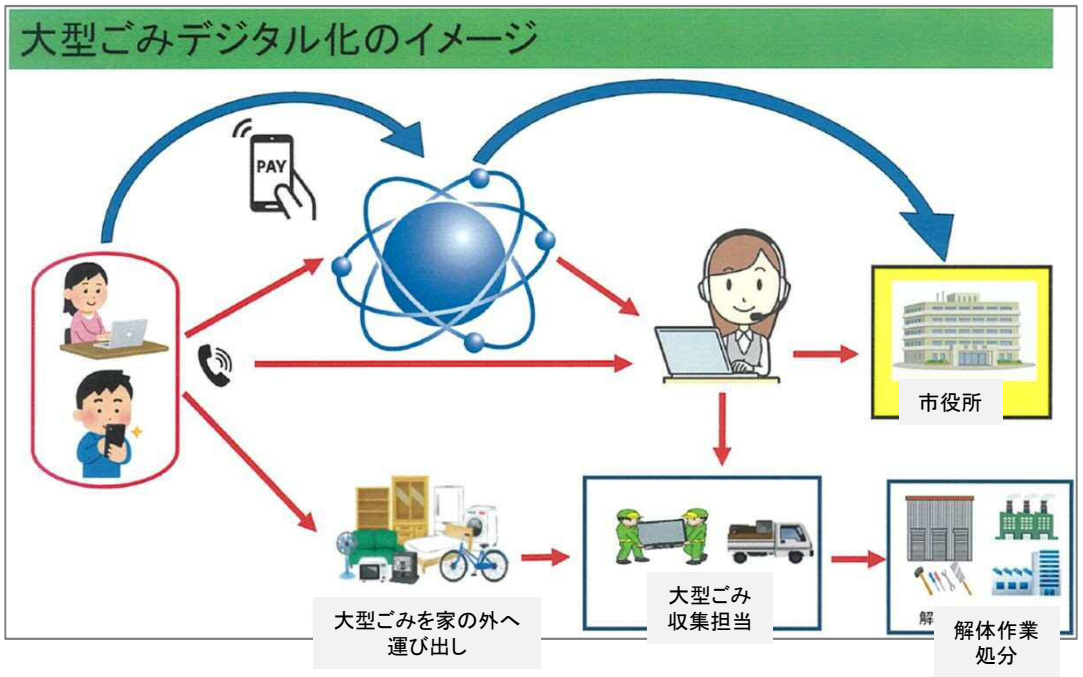
サービス概要

■ サービス内容

サービス名	大型ごみ受付収集サービス	事業費	5,896千円
ターゲット	平日の営業時間内に電話での収集申し込みが困難な方 パソコンやスマートフォン等を活用したインターネット申し込みを希望される方		
展開エリア	鳥取県鳥取市		

サービス内容（事業分野：②住民サービス）

・パソコンやスマートフォンから、２４時間大型ごみの収集申込ができる。
・支払い方法について、キャッシュレス決済が選択できる。



■ 重要業績評価指標（KPI）の達成度、評価及び今後の方針

KPI①	インターネットからの申込割合（アウトプット指標）	種別	アウトプット	単位	%
	2023年度末	2024年度末	2025年度末		
目標値	総受付数の5%	総受付数の15%	総受付数の20%		
実績値	総受付数の37%				
達成率	740%				
評価及び今後の方針	サービスの実装に併せて、サービス内容を記載したごみの出し方ガイドを新たに作成し全戸配布を行った。これにより、市民が大型ごみの排出方法を調べる場合にサービス内容が目に入るようになったことなどにより、目標を上回る利用率となった。また、利用率も増加傾向であり、継続して利用されているものと考えられる。利用者から改善点として意見があった箇所の改善を行い、継続利用者の増加を図る。				

KPI②	従来の受付時間外の申込件数（アウトカム指標）	種別	アウトカム	単位	件/年
	2023年度末	2024年度末	2025年度末		
目標値	210件/年	650件/年	860件/年		
実績値	1164件/年				
達成率	554%				
評価及び今後の方針	ごみの出し方ガイドにより、24時間受付可能であることを広く周知したことにより、受付時間外の申込が目標を上回ったものと考えられる。この広報の方法は適切であったと判断しており、今後も同様の方法により周知を行う。				

KPI③	大型ごみ収集受付サービスの満足度（アウトカム指標）	種別	アウトカム	単位	%
	2023年度末	2024年度末	2025年度末		
目標値	50%	60%	70%		
実績値	58%				
達成率	116%				
評価及び今後の方針	主目的である24時間受付とオンライン決済ができることについては利用者から満足の声が多くあったが、受付サイト内の文面が分かりにくいという意見も複数あったため、2024年度（令和６年度）に分かりやすい表現に変更する予定としている。				

■ 内部評価

内部評価	
①	内部評価基準 ①地方創生に非常に効果的であった 全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合 ②地方創生に相当程度効果があった 一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合 ③地方創生に効果があった KPIの達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組みが前進・改善したとみなせる場合 ④地方創生に対して効果がなかった KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合

■ 総合企画委員評価（外部評価）

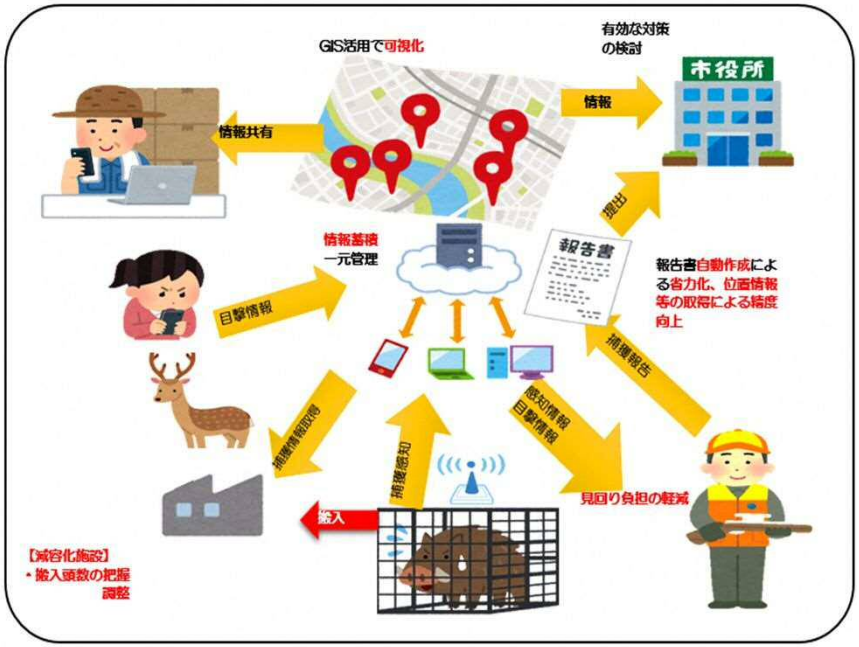
外部評価	
①	外部評価基準 ①KPI達成に有効であった ②KPI達成にある程度有効であった ③KPI達成にあまり有効とは言えない ④KPI達成に有効とは言えない

■ ご意見等に対する回答（担当課：生活環境課）

ご意見	担当課回答
KPI①と②の目標設定値から見れば、5～7倍であり、③も目標を上回っていることから、評価は①となります。しかし、インターネット申し込みも可能とすればこれらの数字は上向くのが当然であり、目標値が過小と感じます。もっと戦略的な目標値の設定があったのではないかと考えます。	本事業の実施にあたり参考とした自治体の実績値を基に、本市の人口や高齢化率、１日あたりの大型ごみの収集件数を勘案して目標値を設定しましたが、自治連合会の協力による各地区での広報をはじめ、市報やCATV、FM鳥取など、あらゆる媒体を積極的に活用したＰＲに加え、「ごみの出し方と分別ガイド」の全戸配布など、周知を徹底したことにより、見込みを上回る利用率となったと分析しています。
高齢者世帯は大丈夫でしょうか？	高齢者世帯は電話による申し込みが多い実態はありますが、高齢者世帯をはじめより多くの市民に活用していただくため、「ごみの出し方と分別ガイド」にQRコードを記載するなど、利用しやすい環境を整えているところです。 今後も継続的な事業のＰＲと、利用しやすい環境の構築に向けて取り組んでいきます。

事業概要 【スマート檻罠・鳥獣害捕獲確認システム等を利用した鳥獣害対策の効率化】

1

事業概要	野生鳥獣による農産物被害は年々増加傾向にあり、農林事業者が安心して生産活動を行うことができる環境を整えるため、ＩＣＴを活用したスマート檻罠や鳥獣捕獲確認システムを導入し、捕獲に係る狩猟者等の労務の省力化・効率化を図る。また、野生鳥獣の生息域や被害対策の実施状況、捕獲情報等をマッピングし、データに基づいた効率的な捕獲や対策につなげる。	
具体サービス	【スマート檻罠・鳥獣捕獲確認システム】 ・狩猟者に捕獲通知が届く ・狩猟者がスマートフォン等で位置情報や写真を添付して捕獲確認報告ができる ・GIS活用による捕獲情報・目撃情報の可視化	
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①利用者数	【アウトカム指標（成果指標）】 ①利用者満足度 ②農作物被害額

サービス内容（政策目的への適合性）

■ 事業の実施によって解決を図る課題及び実現したい地域像

■事業の実施によって解決を図る課題

本市における狩猟登録者数は、令和３年１０月末現在で、わな猟３４７名、猟銃１３２名であり、このうち６０歳以上の登録者は３３７名で、全体の７割を占める。また、４０歳未満の登録者は９６名であり、全体の２割程度にとどまっており、狩猟者の高齢化が顕著である。

このようななか、イノシシ及びシカの合計捕獲頭数は、平成２４年度の２，０７８頭から令和３年度には５，２２４頭と２倍以上に増加しており、罠の見回り、捕獲、運搬、埋却、行政への報告書類の提出等、狩猟者の負担の増大と、後継者不足による捕獲数の減少、さらには農林水産物への被害額の増加が懸念される。鳥獣捕獲業務の省力化や効率化に資する技術を導入し、持続可能な捕獲体制の構築が求められている。

■事業の実施により将来的に実現したい地域像

＜持続可能な狩猟体制の構築＞

・システムによる情報共有を生かし、地域一体となった捕獲体制の構築や、捕獲者の育成が図られる。
・スマートフォン等を利用した捕獲確認業務の簡素化により、新規の若手狩猟者の獲得が図られる。
・システム運用が安定し次第、市内の他エリアや周辺市町村への展開を図り、鳥取県東部圏域での総合的な対策実施体制が構築される。

＜鳥獣による被害の減少＞

・本システムを導入し、より適切に罠を設置することで、捕獲数の増加と鳥獣被害対策の効率化が図られる。これにより、農作物被害の減少、また、住宅街への出没数が減少する。

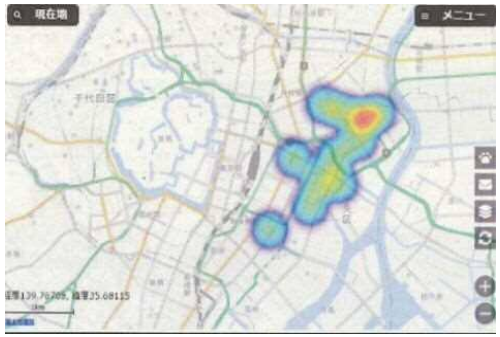
サービス概要

■ サービス内容

サービス名	スマート檻罠・鳥獣捕獲確認サービス	事業費	16,031千円
ターゲット	狩猟者、農家、地域住民		
展開エリア	鳥取県鳥取市		

サービス内容（事業分野：⑧農林水産）

- センサーが捕獲を感知すると、狩猟者にメールが届くシステムとすることで、檻罠を定期的に全箇所見回る必要が無くなり、時間や燃料費の削減を図ることができる。（特に地域をまたぎ広範囲で罠を仕掛けている狩猟者や、市の依頼により複数地域で狩猟を実施している狩猟者などについては、見回り等の負担軽減が見込まれる）
- 罠を確認した狩猟者が、捕獲日時・捕獲場所・獣種・性別・写真添付・捕獲方法・処分方法をシステムに登録し、捕獲確認報告ができるシステムとすることで、報告作業の手間を削減できる。
- 農家や地域住民、狩猟者等の目撃情報や被害情報が登録できるシステムとする。
- 捕獲情報や目撃情報、被害状況、罠の設置状況を地図上で視覚的に把握できるため、地域一体となった捕獲体制の構築や、捕獲数の増加、鳥獣被害対策の効率化が見込める。
  ※獣種や状況ごとに異なるアイコンの表示や、ヒートマップ表示や獣種別・捕獲日時別等の絞り込みも可能。
- 絞り込んだ情報はCSVに出力し、統計把握に活用できる。



■ 重要業績評価指標（KPI）の達成度、評価及び今後の方針

KPI①	スマート檻罠・鳥獣捕獲確認システム利用者数	種別	アウトプット	単位	人

	2023年度末	2024年度末	2025年度末
目標値	100人	150人	200人
実績値	20人		
達成率	20%		
評価及び今後の方針	実施計画においては、2024年（令和6年）に100人のシステム利用者数を計画していたが、システムの運用開始が年度末になったため、ＫＰＩが未達成となった。2024年度（令和６年度）は、（株）アイエスイー（システム開発事業者）と連携し、実施地域以外でもシステムの周知を図るなど、ＫＰＩ達成に向けて取り組みを進める。		

KPI②	スマート檻罠・鳥獣捕獲確認システム利用者満足度（アウトカム指標）	種別	アウトカム	単位	%

	2023年度末	2024年度末	2025年度末
目標値	60%	70%	75%
実績値	未計測		
達成率	－		
評価及び今後の方針	実施計画においては、2024年（令和6年）3月上旬の運用開始で計画していたが、契約準備に時間を要し、また、帳票出力など機能要件の調整に時間を要したため、事業完了が年度末となり、ＫＰＩが未計測となった。2024年度（令和６年度）は、（株）アイエスイー（システム開発事業者）と連携し、システム利用者の積極的なサポートを図るなど、ＫＰＩ達成に向けて取り組みを進める。		

KPI③	農作物被害額（アウトカム指標）	種別	アウトカム	単位	千円/年

	2023年度末	2024年度末	2025年度末
目標値	26,000千円/年	23,000千円/年	20,000千円/年
実績値	10,997千円/年		
達成率	236%		
評価及び今後の方針	当該事業においては、事業実施が年度末となったため、ＫＰＩへの直接的な影響は少ないが、侵入防止柵設置事業、捕獲檻の貸し出し・奨励金による捕獲強化事業及び狩猟免許取得支援事業等の既存の鳥獣害対策事業による一定の成果があった。2024年度（令和６年度）は、当該事業を本格稼働させ、ＫＰＩ達成に向けて、地域や狩猟者と協働しながら既存事業と併せて鳥獣被害防止対策を強力に進める。		

■ 内部評価

内部評価	
②	内部評価基準 ①地方創生に非常に効果的であった 全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合 ②地方創生に相当程度効果があった 一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合 ③地方創生に効果があった KPIの達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組みが前進・改善したとみなせる場合 ④地方創生に対して効果がなかった KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合

■ 総合企画委員評価（外部評価）

外部評価	
③	外部評価基準 ①KPI達成に有効であった ②KPI達成にある程度有効であった ③KPI達成にあまり有効とは言えない ④KPI達成に有効とは言えない

■ ご意見等に対する回答（担当課：農政企画課）

ご意見	担当課回答
普及説明活動が重要です。	（ご意見として承る）
システムの運用遅延や事業実施が年度末になった要因は何なのか？検証分析が不十分なままの評価は困難なため、地方創生に効果ありとは理解し難い。	詳細な機能要件の調整などの事業者との協議や利用者の決定などに時間を要したため、事業完了が年度末となりましたが、令和６年度は、システム開発事業者と連携し、利用者への積極的なサポートなど、ＫＰＩ達成に向けた取り組みを進めていきます。
利用者満足度を知りたい。	令和５年度は、事業完了が年度末になったことなどにより、システム利用者の満足度調査まで至りませんでしたが、令和６年度は調査を実施し、利用者の意見も踏まえながら、エリア拡大など、今後のサービス展開を検討していきます。

事業概要 【とりみちinfo＝鳥取市版簡易スマートモビリティ事業】

1

事業概要	除雪状況確認用に整備した「とりみちinfo」を通常時にも活用するため、市民が道路状況や天候等を投稿することを可能とし、水位や渋滞などの情報と併せて公開するシステムを構築する。これにより、市民にとって安全で最適な移動手段の選択が可能となる。また、蓄積した情報を市民生活の向上に活用するため、可能な限りオープンデータ化し、二次利用を促進する。	
具体サービス	①道路通行状況サービス **（鳥取砂丘交通渋滞対策ウェブ）** 観光地等の渋滞が発生しやすい箇所にライブカメラを設置・公開することで、円滑なルート選択に寄与。 ②アンダーパス水位情報提供システム アンダーパスの水位情報を取得・公開することで、事故防止や安全な通行ルート選択に寄与。 ③市民等からの投稿 市民から道路に関わる情報（渋滞情報など）の投稿を受け付け、公開する。 ④収集データの二次利用 ・①～③のデータを可能な限りオープンデータ化。 企業による二次利用を促す。	
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①サイトへのアクセス数 ②市民等からの投稿件数 ③市民等からの投稿利用者数	【アウトカム指標（成果指標）】 ①サービスの満足度

■ 事業の実施によって解決を図る課題及び実現したい地域像

■事業の実施によって解決を図る課題

現在、市民等への道路状況に関する情報提供は、書面を作成したうえで市のHPに掲載することで周知を図っているが、情報を整理し掲載するまでに時間がかかることから情報にタイムラグが生じており、市民等の移動方法の選択判断に活用されていないことが多く、安全かつ円滑な道路利用や道路の保守保全への関心を高めることが難しい状況である。
また、蓄積された情報の分析も手作業が多く、市政への反映や市民への情報提供に遅れが生じている。

本事業では、道路ライブカメラを用いた道路モニタリング状況、市民から道路に関わる情報（渋滞情報など）の投稿を、双方向で共有することができるシステムを構築し、迅速に公開する。
また、収集した情報を自動で蓄積・分析し、官民が連携して二次利用することで、道路拡張や保全計画への反映、交通事業者や観光事業者、自治会などでの活用も可能となるなど、道路に関する安心感の向上や幅広い年齢層への市政への関心度の向上を図る。

■事業の実施により将来的に実現したい地域像

渋滞解消や円滑な交通の確保、環境問題や災害対策など、さまざまな地域課題の解決が求められている。そういった課題に市民や企業が関心を持ち、ITを通じて双方向のやりとりを行い、協働で課題解決や新たなビジネスの創出などに取り組む地域像が期待される。

サービス概要（1/4）

■ サービス内容

サービス名	①道路通行状況サービス（鳥取砂丘交通渋滞対策ウェブ）	事業費	52,125千円
ターゲット	鳥取市民、鳥取市への観光客		
展開エリア	鳥取市		

サービス内容（事業分野：①行政サービス）

[サービス内容]

・交通量の多い観光地（鳥取砂丘）にライブカメラ等を設置し、渋滞情報（カメラ、渋滞長）をとりみちinfoで発信する。また、渋滞が発生しないように交通規制情報も発信できるシステムとする。

設置箇所：鳥取砂丘周辺ほか渋滞の見込まれるエリア

[導入のねらい]

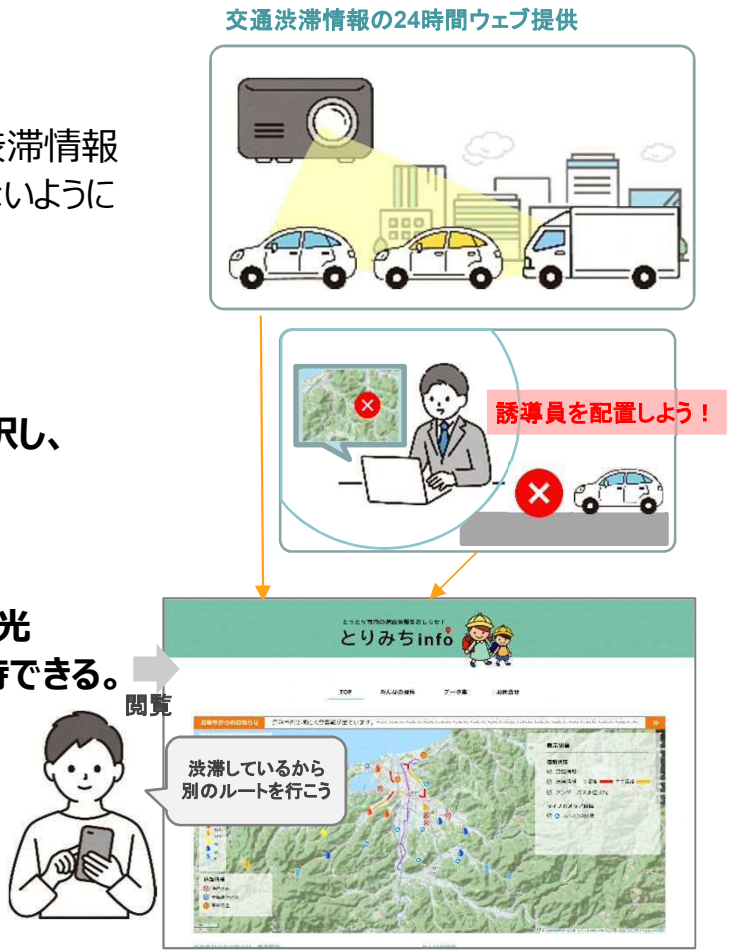
・市民等は、この情報をもとに2次交通の利用や通行ルートを選択し、スムースな移動が可能となる。

・交通誘導員の迅速な適正配置

・地元自治会への情報提供

・オープンデータとして公開し2次利用可能とし、交通事業者や観光関連事業者などの、経済活動の基礎データとしての活用が期待できる。

・導入するカメラは、人の流れだけでなく、県外・県内車の分析ができるものとし、AIでデータ分析を行い、道路の渋滞対策や駐車場の満車予測情報、道路保全計画、交通誘導員の配置計画、2次交通計画、観光プロモーション等へ活用が可能。



サービス概要（2/4）

■ サービス内容

サービス名	②アンダーパス水位情報提供システム	事業費	12,440千円
ターゲット	鳥取市民、鳥取市への観光客		
展開エリア	鳥取市		

サービス内容（事業分野：①行政サービス）

[導入の背景]

・現在アンダーパスに設置された水位計はフロートスイッチを使用しており、HHWL（最高水位）を超えたとき、現地の進入禁止警告灯（現地表示盤）で情報提供を行っている。

・通行止めの措置は、市役所への電話通報を受けて行っている。

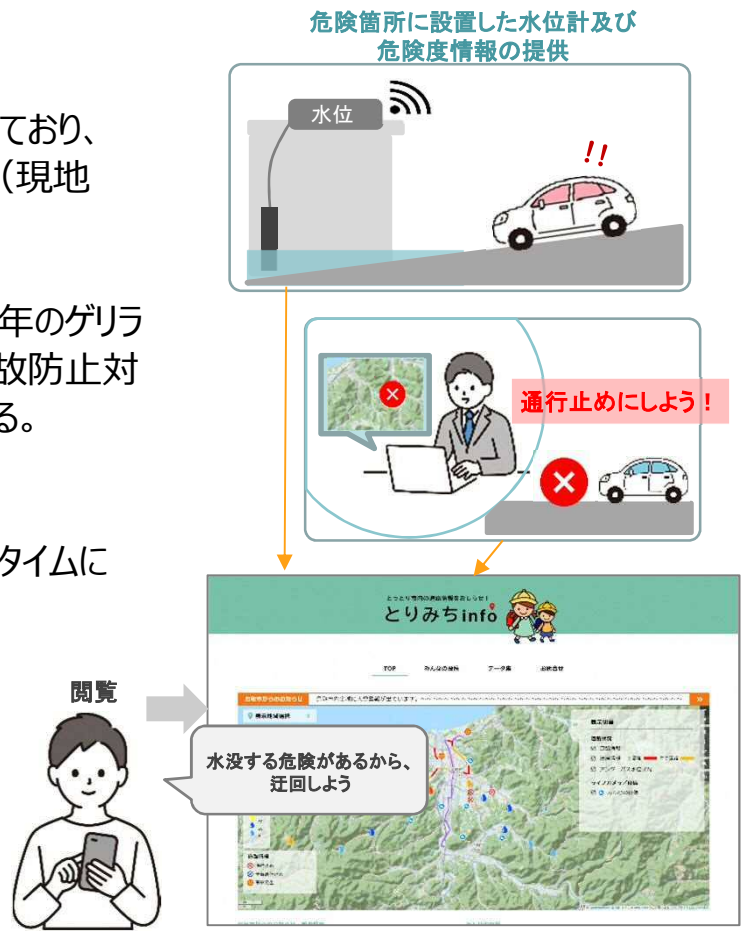
・従来はこの仕組みと排水ポンプによる排水で対応していたが、近年のゲリラ豪雨等により排水ポンプの能力以上の雨量が頻発しており、事故防止対策のため、現地の状況をリアルタイムに把握する必要が生じている。

[サービス内容]

・市道のアンダーパス５か所に水位計またはカメラを設置し、リアルタイムに水位情報を取得し、冠水危険度をとりみちinfoに発信する。

[導入のねらい]

・危険な状況を速やかに察知し、進入禁止等の対策を行うことができる。



サービス概要（3/4）

■ サービス内容

サービス名	③市民等からの投稿	事業費	2,500千円
ターゲット	鳥取市民、鳥取市への観光客		
展開エリア	鳥取市、全国		

サービス内容（事業分野：①行政サービス）

[導入の背景]
- 鳥取市の地形では、1Kmの距離で降雪量や気温に差があるため、気象庁や間隔（距離）が広い定点観測地点データだけでは、除雪や危機管理対策の適切な初動対応が困難な場合がある。
- 道路陥没などの緊急を要する案件について、現在は各町内会で投稿する仕組みを活用しているが、全通報の25%程度に留まっている。より一層の安全確保のため、市民全体の投稿も求められている。

[サービス内容]
- 市民が目で見た渋滞情報を含む道路等の状況について、とりみちinfo上に投稿できるようにする。
- 投稿された情報は、道路通行情報等と併せて、投稿者以外も見ることができる。

[導入のねらい]
- **定点観測値以外からのデータを活用し、市の初動短期化に活用する。**
- **市民は近隣の投稿から状況を知る事ができ、早めの退避行動が可能。**
- **自分の投稿が市のサイトに表示されることで親近感がわき、市政への参加意識が高まる。**

サービス概要（ 4/4 ）

■ サービス内容

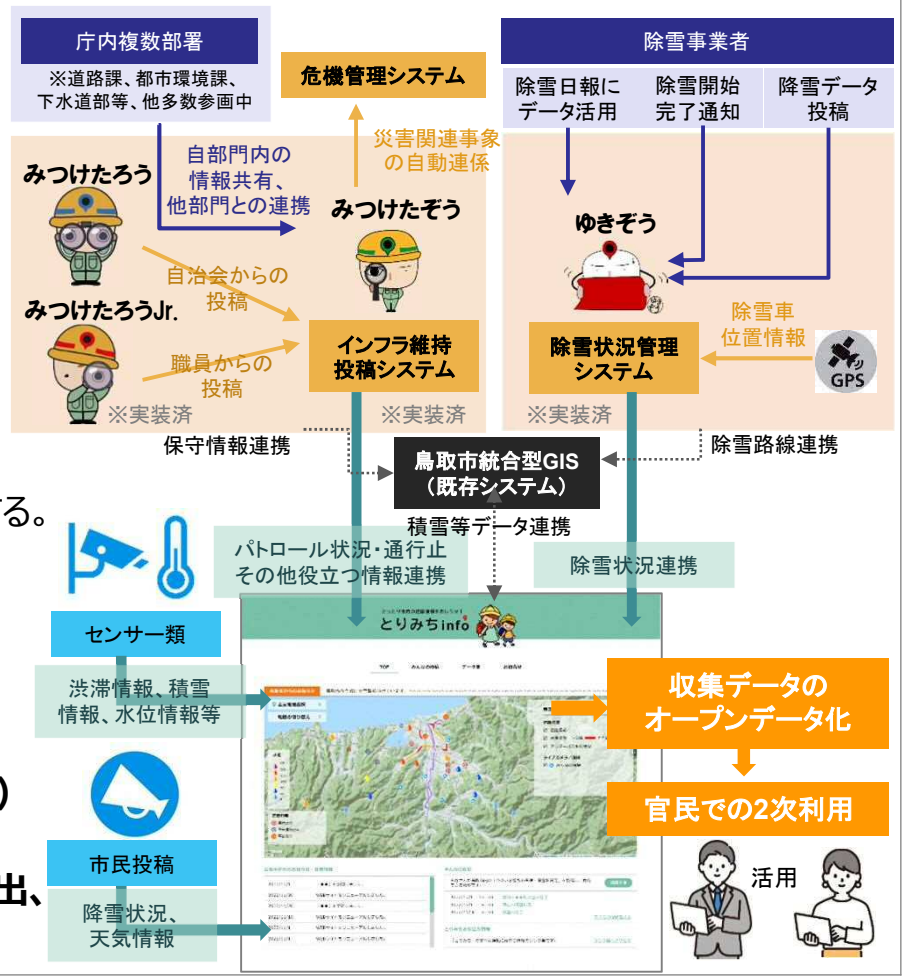
サービス名	④収集データの二次利用	事業費	2,935千円
ターゲット	鳥取市民、鳥取市に拠点を持つ事業所等		
展開エリア	鳥取市、全国		

サービス内容（事業分野：①行政サービス）

[導入の背景]
- 従来の蓄積データは非公開のものも多く、公開する場合は公開不可の項目削除などの作業が必要である。
- 公開されたデータが古く、必要な分析が行えないなど、利活用されていない状況となっている。

[サービス内容]
- 本事業で計測した数値データや情報は、可能な限り自動で二次利用可能な形式でオープンデータ化する。
- レベルに応じた速度で公開し、企業や団体での活用を促進する。

[導入のねらい]
- **交通事業者や観光関連事業者の経済活動の基礎データとしての活用や、データを活用した出発地への効果的な観光プロモーション施策（例：公共交通利用時の旅割（〇〇県限定）、中心市街地と連携した駐車場割引など）が可能となる。**
- **企業や団体がデータを活用することで、新たなビジネスの創出、環境対策、危機管理対策等に活用が期待できる。**



■ 重要業績評価指標（KPI）の達成度、評価及び今後の方針

KPI①	サイトへのアクセス数（アウトプット指標）	種別	アウトプット	単位	件/年
	2023年度末	2024年度末	2025年度末		
目標値	50件/年	730件/年	1,110件/年		
実績値	393件/年				
達成率	786%				
評価及び今後の方針	降雪シーズン前に市報やケーブルテレビで本サイトについて周知したことなどにより、アクセス数が増加したものと考える。除雪の状況は市民の関心が高いことから、2024年度（令和６年度）においても、より多くの市民に本サイトを知っていただくよう広く周知していく。				

KPI②	市民等からの投稿件数（アウトプット指標）	種別	アウトプット	単位	件/年
	2023年度末	2024年度末	2025年度末		
目標値	100件/年	600件/年	900件/年		
実績値	399件/年				
達成率	399%				
評価及び今後の方針	2023年度（令和５年度）は導入初年度ということもあり、主に投稿は除雪活動における除雪業者からの積雪深報告となった。2024年度（令和６年度）は、多くの市民に本サイトに投稿していただくよう、広く周知していく。				

KPI③	市民等からの投稿利用者数（アウトプット指標）	種別	アウトプット	単位	件/年
	2023年度末	2024年度末	2025年度末		
目標値	50件/年	100件/年	150件/年		
実績値	62件/年				
達成率	124%				
評価及び今後の方針	2023年度（令和５年度）は導入初年度ということもあり、主な利用者は積雪深報告を行う除雪業者となった。2024年度（令和６年度）は、多くの市民に本サイトを利用していただくよう、広く周知していく。				

■ 重要業績評価指標（KPI）の達成度、評価及び今後の方針

KPI④	サービスの満足度（アウトカム指標）	種別	アウトプット	単位	%

	2023年度末	2024年度末	2025年度末
目標値	50%	60%	70%
実績値	未計測		
達成率	－		
評価及び今後の方針	2023年度（令和５年度）は導入初年度ということもあり、利用者からシステムの改善要望が生じたことによる改修対応や、WEBアンケートの運用調整に時間を要したため、今年度はＫＰＩが未計測となった。2024年度（令和６年度）はWEBアンケート等により利用者のニーズ把握を行い、KPI達成に向けての取り組みを進める。		

■ 内部評価

内部評価	
①	内部評価基準 ①地方創生に非常に効果的であった 全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合 ②地方創生に相当程度効果があった 一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合 ③地方創生に効果があった KPIの達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組みが前進・改善したとみなせる場合 ④地方創生に対して効果がなかった KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合

■ 総合企画委員評価（外部評価）

外部評価	
②	外部評価基準 ①KPI達成に有効であった ②KPI達成にある程度有効であった ③KPI達成にあまり有効とは言えない ④KPI達成に有効とは言えない

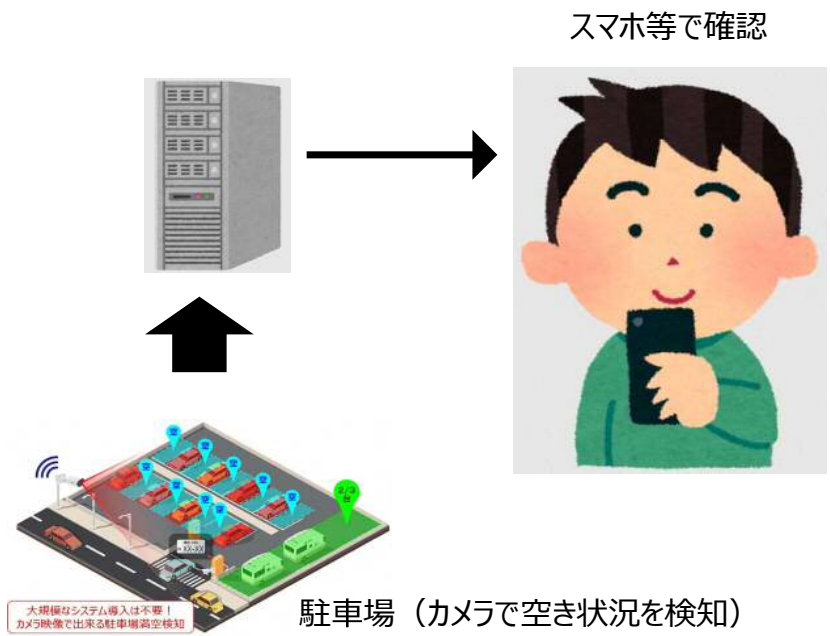
■ ご意見等に対する回答（担当課：道路課）

ご意見	担当課回答
今後に期待します。	（ご意見として承る）
数値的には達成しているが、メディアに取り上げられたことによる瞬間的なものであったり、業者からの投稿が大半だったりで、本来の日常的な生活者利用が如何程かは要経過観察。	（ご意見として承る）
事業の内容はとても良いと思うが、このような仕組みが作られていることを市民として確認できるところがどこなのか知りたいと思った。情報の発信も必要な事業だと感じる。	（ご意見として承る）

ご意見	担当課回答
交付金7千万円で取り組む地方創生ですか。私たちの市民生活に対してどれ程効果的、有益性があるのかよくわかりません。	本システムでは、道路通行状況やアンダーパスの水位情報提供、また、除雪情報を提供しています。 アンダーパスの水位情報により、雨天時における通行止め処置の迅速化や、降雪時における除雪済路線のリアルタイムでの情報提供など、市民生活に大きく役立っているものと考えています。 また、鳥取砂丘周辺にカメラを設置したことにより、ゴールデンウイーク期間中におけるより道路混雑予想の掲載や臨時駐車場への迅速な案内など、鳥取砂丘周辺の渋滞緩和にも効果があったと考えております。
中山間地域に自動運転の車を走らせるとか、市民生活の利便性向上の施策に取り組んでほしい。	バス運転手が不足する中、本市では生活交通を確保する一つの手段として、自動運転バスの導入に向けた実証実験を行っているところですが、実装に至るまでには多くの課題があるものと考えています。中山間地域における自動運転バスの導入につきましては、現在行っている実証結果を踏まえ、今後、慎重に検討していきたいと考えております。 また、現在、中山間地域における生活交通を確保するため、民間路線バスやバス代替タクシーの運行への支援や、市が主体となる市有償バスの運行、地域住民が主体となる共助交通の運行への支援など、地域の特性に応じた取組を展開しているところであり、引き続き、中山間地域における市民生活を支える交通手段の維持・確保に努めてまいります。

事業概要 【IoTセンサーを利用した中心市街地の駐車場混雑状況見える化】

1

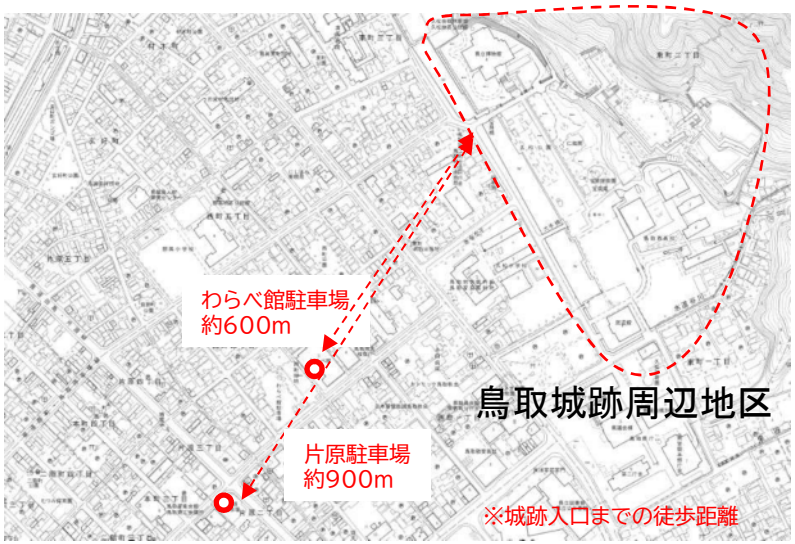
事業概要	本市では、鳥取市中心市街地活性化基本計画を策定し、広域から様々な人々が集まることで、多くの世代がつながり、賑わいや活力のある、山陰東部圏域の中核を担う中心市街地を目指した取り組みを行っている。 中心市街地のエリアの１つである鳥取城跡周辺地区において、観光客などの来街者の受け入れ態勢を強化するため、来街者が周辺駐車場の空き状況をスマートフォン等でリアルタイムに確認できるシステムを構築し、アクセスの向上を図ることで、観光交流を促進する。	
具体 サービス	鳥取城跡周辺地区の駐車場にカメラを設置して空き状況を計測し、スマートフォン等でリアルタイムに確認できるようにする。 【駐車場の空き状況情報発信システム】 ＜実施予定の駐車場（３か所）＞ ・片原駐車場 ・わらべ館 ・民間の駐車場１か所	
主な KPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①システムの年間アクセス数	【アウトカム指標（成果指標）】 ①鳥取城跡周辺地区の観光客数

サービス内容（政策目的への適合性）

■ 事業の実施によって解決を図る課題及び実現したい地域像

■事業の実施によって解決を図る課題

鳥取市に来られる観光客の交通手段は、多くが自家用車となっているが、鳥取城跡周辺地区の駐車場は城跡から距離があり、また、空き状況を一元的に見ることができないことから、初めて来られる方にはわかりづらい状況となっており、利便性向上のためには、自家用車でのアクセス向上が課題である。



■事業の実施により将来的に実現したい地域像

鳥取城跡周辺地区は、国指定文化財「鳥取城跡」、国の重要文化財「仁風閣」、令和３年度に復元された中ノ御門表門（大手門）や久松山など、歴史・文化や良好な景観など、多くの観光資源がある地区となっている。

本地区は、鳥取市中心市街地活性化基本計画において「歴史・文化等を有する観光交流と、豊かな居住の舞台」と位置付けられており、駐車場の空き状況を可視化することで城跡へのアクセスを向上させ、観光客でにぎわう城跡を将来的に実現したい地域像とする。

サービス概要

■ サービス内容

サービス名	鳥取城跡周辺地区の駐車場の空き状況等情報発信サービス	事業費	8,069千円
ターゲット	鳥取城跡周辺地区への観光客等		
展開エリア	鳥取県鳥取市		
サービス内容（事業分野：①行政サービス）			

・駐車場に設置されたＩｏＴカメラ等の情報が、一定間隔でサーバにアップロードされ、空き状況が更新される。
・駐車場の空き状況について、利用者がスマホ等でリアルタイムに確認できる。

■ 重要業績評価指標（KPI）の達成度、評価及び今後の方針

KPI①	システムへの年間アクセス数（アウトプット指標）	種別	アウトプット	単位	回/年

	2023年度末	2024年度末	2025年度末
目標値	4,400回/年（10月～3月）	9,000回/年	9,100回/年
実績値	－		
達成率	－		
評価及び今後の方針	実施計画においては、2023年（令和５年）１０月の運用開始で計画していたが、契約準備に時間を要し、また、表示内容など機能要件の調整に時間を要したため、事業完了が年度末となり、ＫＰＩが未計測となった。 2024年度（令和６年度）は、（一社）鳥取市観光コンベンション協会などの関係機関と連携し、鳥取城跡でのイベントチラシなどにＱＲコードを掲載して周知を図るなど、ＫＰＩ達成に向けて取り組みを進める。		

KPI②	鳥取城跡周辺地区の観光客数（アウトカム指標）	種別	アウトカム	単位	人/年

	2023年度末	2024年度末	2025年度末
目標値	3,666人/年	3,755人/年	3,843人/年
実績値	3,671人/年		
達成率	100%		
評価及び今後の方針	システム運用開始前であるため、2023年度（令和5年度）の実績値は、目標値とほぼ同等となっている。 2024年度（令和６年度）は、（一社）鳥取市観光コンベンション協会などの関係機関と連携し、鳥取城跡でのイベントチラシなどにＱＲコードを掲載して周知を図るなど、ＫＰＩ達成に向けて取り組みを進める。		

■ 内部評価

内部評価	
評価 対象外	内部評価基準 ①地方創生に非常に効果的であった 全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合 ②地方創生に相当程度効果があった 一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合 ③地方創生に効果があった KPIの達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組みが前進・改善したとみなせる場合 ④地方創生に対して効果がなかった KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合

■ 総合企画委員評価（外部評価）

外部評価	
評価 対象外	外部評価基準 ①KPI達成に有効であった ②KPI達成にある程度有効であった ③KPI達成にあまり有効とは言えない ④KPI達成に有効とは言えない